

\*\*\*\*心理学部 教育発達学科\*\*\*\*

2014年度生用

---

明治学院大学履修要項  
～履修の方法を知るために～

---

2021

Meiji Gakuin University



## 目 次

はじめに .....	
情報の伝達 .....	全学部共通の学
学修の手引き .....	修の手引き等が
カリキュラム .....	ありますので、
単位制 .....	そちらをご覧ください
履修 .....	
授業 .....	
試験 .....	
成績 .....	
卒業と学位 .....	
単位認定 .....	
単位互換 .....	

### 心理学部教育発達学科

#### 2014 年度生

明治学院共通科目履修の方法 .....	5 3
教育発達学科履修の方法 .....	5 9
教育職員免許状取得の方法 .....	6 9
諸資格 .....	8 9
1. 社会福祉主事 .....	9 1
2. 児童福祉司 .....	9 3



# 教育発達学科



# 明治学院共通科目履修の方法

本学の授業科目は、学科科目と共通科目によって構成されており、それぞれについて卒業のために必要とされる取得単位数等が定められている。学生は、学科の定めるところに従いつつ、4年間にわたる自らの学修計画を決定しなければならない。

なお、教育発達学科の学生が履修できる明治学院共通科目はC群科目およびE群のうち留学に関する科目である。

## [履修上の注意]

- ① A・Bは独立した科目であり、それぞれについて単位を取得しなければならない。なお、原則としてA・Bは、同一曜時限の同一担当者のクラスを履修することとし、同一曜時限に複数クラスが開講されている場合にも、いずれか1クラスを定めて履修するものとする。
- ② 以下の表の配当年次とは、その科目を履修できる下限の年次を示したものである。1年次配当科目とは、1年次以上の学生が履修できることを意味している。

## [科目コードについて]

明治学院共通科目には科目コードが付番される。その意味は下記のとおりとなる。

$$\begin{array}{ccccccc} \underline{C (D \cdot E \cdot H \cdot I)} & + & \underline{1 \sim 3} & + & \underline{0 \sim 9} & + & \underline{0 \sim 9} & + & \underline{1 \sim 8} \\ \text{科目群イニシャル} & & \text{配当年次} & & \text{科目群内の当該科目固有番号} & & & & \\ & & \text{(千の位)} & & \text{(百の位以下)} & & & & \end{array}$$

科目例： C1011 キリスト教の基礎 A

[C 群科目]…必修および選択必修科目。以下の基本科目 1～3 について、それぞれ所定の単位を取得すること。

### 1. ｷﾘｽﾄ教基本科目

全学必修のｷﾘｽﾄ教関連科目。A・Bそれぞれ2単位、計4単位を取得しなければならない。

配当年次	科目名	単位数	開講学期	科目名	単位数	開講学期
1	C1011 ｷﾘｽﾄ教の基礎 A	2	春	C1012 ｷﾘｽﾄ教の基礎 B	2	秋

### 2. 外国語基本科目

必修である英語科目と選択必修の初習語科目。

- ・英語科目については、「英語コミュニケーション」1A・1B、2A・2Bそれぞれ各1単位、計4単位を取得しなければならない。
- ・初習語とは、フランス語、中国語、ドイツ語、スペイン語、韓国語をいう。いずれか1言語を選択し、その言語について1A・1B、2A・2Bの各1単位、計4単位を取得しなければならない。可能な限り1学年次での履修と単位取得が望ましい。
- ・原則として、入学時に選択した「初習語」は他の言語へ変更することはできない。ただし、特別の事情があり、オリエンテーション期間に申し出た者については、科目責任者が判断する。

配当年次	科目名	単位数	開講学期	科目名	単位数	開講学期
1	C1111 英語コミュニケーション 1A	1	春	C1112 英語コミュニケーション 1B	1	秋
1	C1113 英語コミュニケーション 2A	1	春	C1114 英語コミュニケーション 2B	1	秋
1	C1211 フランス語 1A	1	春	C1212 フランス語 1B	1	秋
1	C1213 フランス語 2A	1	春	C1214 フランス語 2B	1	秋
1	C1311 中国語 1A	1	春	C1312 中国語 1B	1	秋
1	C1313 中国語 2A	1	春	C1314 中国語 2B	1	秋
1	C1411 ドイツ語 1A	1	春	C1412 ドイツ語 1B	1	秋
1	C1413 ドイツ語 2A	1	春	C1414 ドイツ語 2B	1	秋
1	C1511 スペイン語 1A	1	春	C1512 スペイン語 1B	1	秋
1	C1513 スペイン語 2A	1	春	C1514 スペイン語 2B	1	秋
1	C1711 韓国語 1A	1	春	C1712 韓国語 1B	1	秋
1	C1713 韓国語 2A	1	春	C1714 韓国語 2B	1	秋

- ・英語以外の言語について、既習している言語を選択する際には必ず教務課窓口にご相談すること。

### 3. 情報処理基本科目

コンピュータに関する選択必修科目。

- ・「コンピュータリテラシー1」は入門クラス、「コンピュータリテラシー2」は初級クラスである。学生は、自らの習熟度を判断して1または2を選択し、2単位を取得しなければならない。なお、それぞれの授業内容についてはシラバスを参照すること。

配当年次	科目名	単位数	開講学期	科目名	単位数	開講学期
1	C1911 コンピュータリテラシー 1	2	春または秋	C1912 コンピュータリテラシー 2	2	春または秋



## [E 群科目] (卒業要件外)

実験・実習・演習的科目。履修者数が制限されることがあるので、履修希望者はシラバスを参照すること。

※A・Bは独立した科目であるが、可能な限り同一曜時限の同一担当者のクラスを履修すること。

### 1. 「〇〇語特別研究」

- ・「英語特別研究」111～118、「フランス語特別研究」111～112、「ドイツ語特別研究」111～112、「スペイン語特別研究」111～112、「韓国語特別研究」111～112、「中国語特別研究」111～112は留学を希望する学生を支援する留学準備のためのインテシブクラスである。履修に際しては一定の語学力を必要とされるため、初回の授業に必ず出席して履修許可を得ることが必要である。履修の制限を伴う科目もあるので、必ず事前にポートヘボンや配布資料等にて確認し、指示に従うこと。
- ・これらの科目の単位取得をもって、C群の初習語必修単位に振り替えることはできない。

配当年次	科目名	単位数	開講学期	科目名	単位数	開講学期
1	E1411 英語特別研究 111	2	秋	E1412 英語特別研究 112	2	春
1	E1413 英語特別研究 113	2	秋	E1414 英語特別研究 114	2	春
1	E1415 英語特別研究 115	2	秋	E1416 英語特別研究 116	2	春
1	E1417 英語特別研究 117	2	秋	E1418 英語特別研究 118	2	春
1	E1421 フランス語特別研究 111	2	秋	E1422 フランス語特別研究 112	2	春
1	E1431 ドイツ語特別研究 111	2	秋	E1432 ドイツ語特別研究 112	2	春
2	E2445 スペイン語特別研究 111	2	春	E2446 スペイン語特別研究 112	2	秋
1	E1451 中国語特別研究 111	2	秋	E1452 中国語特別研究 112	2	春
1	E1461 韓国語特別研究 111	2	秋	E1462 韓国語特別研究 112	2	春

### 2. 短期留学認定科目

- ・以下は、本学と協定を結ぶ海外校への短期留学について、本学が単位を認定するための科目である。短期留学を行った者以外が単位を取得することはできない。
- ・留学先によって別途配当年次が定められている場合があるので、必ず「短期留学ハンドブック」を確認すること。

配当年次	科目名	単位数	配当年次	科目名	単位数
1	E1999 ｲﾀﾘｱ研究 (短期留学)	4	1	E1999 ｲﾀﾘｱ研究 (短期留学)	4
1	E1999 ﾖｰﾛｯﾊﾟ研究 (短期留学)	4	1	E1999 ﾏﾞﾞﾘｶ研究 (短期留学)	4
1	E1999 韓国研究 (短期留学)	4	1	E1999 スペイン研究 (短期留学)	4
1	E1999 中国研究 (短期留学)	4	1	E1999 中国研究 (短期留学)	4
1	E1999 ドイツ研究 (短期留学)	4	1	E1999 フランス研究 (短期留学)	4

### 3. 海外インターンシップ 関連科目

- ・以下は、海外インターンシップに参加した学生が、単位を取得することができる科目である。
- ・インターンシップ先によって別途配当年次が決められている場合があるので、必ず出願時に確認すること。
- ・これらの科目は各学科が定める年間履修単位の上限には含まれません。
- ・これらの科目はP・F評価となるため、GPAには含まれません。

配当年次	科目名	単位数	開講学期	科目名	単位数	開講学期
1	E1961 海外インターンシップ 課題研究 A	2	春または秋	E1962 海外インターンシップ 課題研究 B	2	春または秋
1	E1963 海外インターンシップ A	4	春または秋	E1964 海外インターンシップ B	4	春または秋

## [H 群科目] (卒業要件外)

2年次以上配当の発展的科目。演習形式を中心とする。

※A・Bは独立した科目であるが、同一曜時限の同一担当者のクラスを履修することとし、同一曜時限に複数クラスが開講されている場合にも、いずれか1クラスを定めて履修するものとする。

※リサーチ&プレゼンテーションはそれぞれボランティア実習、短期留学、長期留学を目指す学生のために、実習、留学で特に力を入れたい点について特化して学習するプログラムである。留学・実習時期によってはAを秋学期、Bを春学期に開講することもある。履修に関しては担当教員の許可を得ることが必要である。

配当年次	科目名	単位数	開講学期	科目名	単位数	開講学期
2	H2031 リサーチ&プレゼンテーション 3A 注1	2	春	H2032 リサーチ&プレゼンテーション 3B 注1	2	秋
2	H2041 リサーチ&プレゼンテーション 4A 注2	2	春	H2042 リサーチ&プレゼンテーション 4B 注2	2	秋
2	H2051 リサーチ&プレゼンテーション 5A 注3	2	春	H2052 リサーチ&プレゼンテーション 5B 注3	2	秋

注1：アジア言語圏留学事前事後研修

注2：ヨーロッパ言語圏留学事前事後研修

注3：英語圏留学事前事後研修

## [I 群科目] (卒業要件外)

英語で行われる科目。本学の交換留学生と一緒に学ぶ科目である。

配当年次	科目名	単位数
1	I1133~I1134 Multilingualism and Multiculturalism3~4	2

※履修定員が設定される。

※履修に際しては一定の英語力が必要とされる。

※シラバスを熟読の上、必ず最初の授業に出席して担当教員から履修の許可を得ること。

# 《心理学部》

## 人材養成上の目的・教育目標

心理学部は"Do for Others"の精神のもと、「こころを探り、人を支える」を教育理念として、現代社会で多くの人が遭遇するさまざまな問題に対して支援することができる「心理支援力のある人材の育成」を教育の目標とする。心理学の基礎を習得し、科学的方法論ならびに関連諸科学の学修と実践を通じて、行動を分析し理解する能力を修得し、その上で、各自の専門分野に応じ、生涯発達 of 諸段階において他者を理解し支援する力を身につけることを目指す。

## ■教育発達学科

### 人材養成上の目的・教育目標

心理学部の「ここを探り、人を支える」というテーマのもと、教育発達学科では「教育発達学の視点からの教育実践力、及び教育実践力のある人材の養成」を教育目標に掲げている。「教育発達学」は、発達や障害に関するメカニズムの理解を基礎とした上で、系統的な教育システムのあり方について分析的・科学的に探求する教育学、心理学、障害科学を融合した学問である。そこで本学科では、人間の生活全体を視野に入れ、教育発達学を基礎として、多様な現場での体験活動を通して、生涯発達における学校との接点を実践的に学び、現代の子どもをめぐる心理的課題に適切に対処できる教育の原理と方法を学修し、学校教育や生涯学習の場における高い教育実践力、及び発達支援力を身につけることを目指している。

### 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

教育発達学を基礎として、現代の子どもをめぐる心理的課題に対処でき、また、子どもや保護者への適切な対応を行うための各自の課題を自覚し自主的に学び続けることができる人材を養成する。

1. 自己理解力、自己コントロール力、他者理解力、関係形成力、他者支援力からなる心理支援力、すなわち人間力を身につけている。
2. 生涯発達プロセスや障害に関する十分な知識を持ち、それを子ども支援に活用できる力を身につけている。
3. 生涯発達における学校との接点を実践的に理解し、有効な教育方法について分析的・科学的に探求する力、および教科指導力、コーディネート力を身につけている。
4. 子どもや保護者に適切に対応するために学ぶべき事柄を認識し、自主的に学び続ける姿勢を身につけている。

### 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

学位授与の方針に基づき、カリキュラム・ポリシーは以下の4点である。

1. 自己理解力・自己コントロール力から他者理解力・他者支援力を含む心理支援力、すなわち人間力を養うために、カリキュラムの中核に、学科基幹科目を配置する。
2. 大学内における教育活動と併せて、学外での現場における体験活動を重視した循環型教育システムを実施することにより、心理支援力、発達支援力、教育実践力を修得させる。
3. 心理支援力、発達支援力を身につけさせるために、心理学科目群、障害科学科目群を配置する。
4. 教育実践力を身につけさせるために、教育学(初等教育)科目群、障害科学科目群を配置する。

# 教育発達学科

## (履修の方法)

教育の方針—教育発達学科は、次の諸点を教育の基本方針としている。

- (1) 「こころを探り、人を支える」という心理学部の教育理念のもとに、学科科目の「子ども理解領域」と「子ども支援領域」の必修科目や選択科目を通して、子どもの発達を心理学の側面、教育学（初等教育）の側面、および障害科学の側面から理解し、実際に支援することができるようになることをめざしている。
- (2) 「子ども理解領域」、「子ども支援領域」においては、いずれも学科基幹科目、心理学科目、教育学（初等教育）科目、障害科学科目に関する講義科目のほか、実技・実験を含む実習科目、演習科目といった多様な授業形態を通して、体験的学修を重視している。
- (3) 学内における学修だけでなく、学外の現場における体験活動を必修とした循環型教育システムを通して、様々な支援ニーズへの対応を具体的に実践的に学修していくことをめざしている。
- (4) こうした 4 年間にわたる学修を通して、子どもを理解し、支え得るように、①心理支援力、②発達支援力、③教育実践力を修得することをめざしている。

## 〔1〕教育発達学科カリキュラムの概要

1. 教育発達学科のカリキュラムは、明治学院共通科目、教育発達学科科目及び心理学部開放科目から構成されている。明治学院共通科目については、『明治学院共通科目履修の方法』を参照すること。

2. 教育発達学科科目の概要

学科科目は、

- ・「子ども理解領域」
- ・「子ども支援領域」

で構成される。

授業形態として、

- (1) 講義
- (2) 実技・実験
- (3) 実習
- (4) 演習
- (5) 卒業研究

がある。

## 〔2〕卒業に必要な単位数および教員免許状取得に必要な単位数

部 門		卒業に 必要な 単位数	卒業に必要な単位と教員免許状取得に必要な単位を 組み合わせた単位数（注2）				
			小学校	小学校 ＋ 特別支援 学校	幼稚園	小学校 ＋ 幼稚園	幼稚園 ＋ 小学校
明治学院 共通科目	キリスト教基本科目		4	4	4	4	4
	外国語 基本科目	英語	4	4	4	4	4
		初習語	4	4	4	4	4
	情報処理基本科目		2	2	2	2	2
学科科目	子ども 理解領域 (PE-I)	学科基幹科目	6	6	6	6	6
		心理学科目	14	14	14	14	14
		教育学（初等 教育）科目	14	31	31	29	31
		障害科学科目	2	2	8	2	2
	子ども 支援領域 (PE-II)	学科基幹科目	4	4	4	4	4
		心理学科目	6	6	8(6)※	8	8
		教育学（初等 教育）科目	0	24	24	14	38
		障害科学科目	8	8	12(14)※	8	8
		実習科目	0	5	8	5	5
		演習科目	0	2	3	3	2
選択科目（PE-I, PE-II, PE-III）		56(注1)	8	0	17	0	
計		124	124	132	124	132	
			124	132	124	132	

（注1）子ども理解領域から12単位以上、子ども支援領域から12単位以上を取得すること。

（注2）免許状の種類ごとに必要な科目の詳細は、P. 66～P. 68を参照すること。

※ 特別支援学校教諭一種免許 選択必修科目の修得状況により心理学科目および障害科学科目の  
必要単位数が異なる。詳細は P. 66～68 および P. 83 を参照すること。

## 〔3〕年間履修制限単位数

・1年間に履修できる単位数は47単位である。

## 〔4〕履修中止除外科目について

学修の手引き「7. 履修中止制度」で履修中止ができない科目としている必修科目、予備登録科目、教育実習等に加えて、教育発達学科における「(g)各学科において定めている履修中止の申請ができない科目」は、以下のとおりである。

・情報処理基本科目

## 〔5〕再試験

卒業年次生で、卒業に必要な単位数を取得していない場合、卒業研究以外の心理学部開放科目および

学科科目で当該年度のD評価の科目を対象として、3科目6単位を上限として再試験の機会を設ける。該当者の発表は3月の卒業生の発表と同時に行い、試験は3月に実施する。ただし、9月卒業申請者に対する再試験は実施しない。

## 〔6〕学科科目

\*を付した科目は必修科目である。また、○を付した科目は選択必修科目である。必修科目・選択必修科目は、必ず配当年次に履修すること。

### (PE－I) 子ども理解領域

配当年次		科目名	単位数	開講	備考
(1) 学科基幹科目					
1	*	教育発達学概論A	2	学期	
1	*	教育発達学概論B	2	学期	
2	*	教育発達学方法論(体験活動)A	1	学期	
2	*	教育発達学方法論(体験活動)B	1	学期	注1
(2) 心理学科目					
1	*	心理学総論	2	学期	
1		心理・教育研究法	2	学期	
1		心理・教育統計学	2	学期	
1	○	子どもの学習支援の心理学	2	学期	注2
1	○	子どもの行動理解の心理学	2	学期	
2	○	子どもと家族支援の心理学	2	学期	
2	*	教育心理学	2	学期	
2	○	生涯発達心理学(乳幼児)	2	学期	注3
3	○	生涯発達心理学(青年)	2	学期	
3	○	生涯発達心理学(成人・老年)	2	学期	
3	*	生涯発達心理学(児童)	2	学期	
(3) 教育学(初等教育)科目					
1	*	教育原論	2	学期	
1	*	国語	2	学期	
1	*	算数	2	学期	
1		教育課程編成論	2	学期	
1		教職概論	2	学期	
1		日本国憲法	2	学期	
1	○	音楽	2	学期	注4
1	○	図画工作	2	学期	
2	○	体育	2	学期	
2	*	教育の制度と経営	2	学期	
2	*	生活	2	学期	

2	○	社会	2	学期	注 5
2	○	理科	2	学期	
2	○	家庭	2	学期	
2		教育方法論	2	学期	
2		音楽実技 1	1	学期	注 6
2		音楽実技 2	1	学期	注 7
3		音楽実技 3	1	学期	注 8
3		初等科英語活動	2	学期	
3		教育社会学	2	学期	
(4) 障害科学科目					
2	*	特別支援教育学総論 A	2	学期	
2		特別支援教育学総論 B	2	学期	注 9
3		病弱の心理・生理・病理	2	学期	
3		病弱教育総論	2	学期	
3		肢体不自由の生理と病理	2	学期	廃止
3		肢体不自由の心理・生理・病理	2	学期	新設

(注1)「教育発達学方法論(体験活動)B」は「教育発達学方法論(体験活動)A」を取得済みであること。

(注2)3科目のうち、2科目4単位を選択必修。

(注3)3科目のうち、2科目4単位を選択必修。

(注4)3科目のうち、1科目2単位を選択必修。

(注5)3科目のうち、1科目2単位を選択必修。

(注6)「音楽実技1」は、「音楽」を取得済みであること。

(注7)「音楽実技2」は、「音楽」、「音楽実技1」を取得済みであること。

(注8)「音楽実技3」は「音楽」、「音楽実技1」、「音楽実技2」を取得済みであること。

(注9)「特別支援教育学総論B」は「特別支援教育学総論A」を取得済みであること。

## (PE－Ⅱ) 子ども支援領域

配当年次		科目名	単位数	開講	備考
(1) 学科基幹科目					
3	*	教育発達学演習 1	2	年間	注 10
4	*	教育発達学演習 2	2	年間	
(2) 心理学科目					
3	*	教育相談の理論と方法	2	学期	
3	○	障害児・者心理学 1(コミュニケーション)	2	学期	注 11
3	○	障害児・者心理学 2(行動)	2	学期	
3	○	障害児・者心理学 3(学習)	2	学期	
3		肢体不自由者の心理	2	学期	廃止
3		幼児理解の理論と方法	2	学期	



3		心理検査法	2	学期	
4		学校心理学	2	学期	
4		感情心理学	2	学期	
(3) 教育学（初等教育）科目					
2		理科指導法	2	学期	
2		家庭科指導法	2	学期	
2		図画工作科指導法	2	学期	
2		体育科指導法	2	学期	
2		生活科指導法	2	学期	
2		保育内容の指導法	2	学期	
3		国語科指導法	2	学期	
3		算数科指導法	2	学期	
3		社会科指導法	2	学期	
3		音楽科指導法	2	学期	
3		生徒・進路指導の理論と方法	2	学期	
3		道徳教育の指導法	2	学期	
3		特別活動の指導法	2	学期	
3		保育内容(健康)	2	学期	
3		保育内容(環境)	2	学期	
3		保育内容(人間関係)	2	学期	
3		保育内容(言葉)	2	学期	
3		保育内容(音楽表現)	2	学期	
3		保育内容(造形表現)	2	学期	
3		初等科英語研究	2	学期	注 12
3		学校経営と学校図書館	2	学期	
3		学校図書館メディアの構成	2	学期	
3		学習指導と学校図書館	2	学期	
3		読書と豊かな人間性	2	学期	
3		情報メディアの活用	2	学期	
4		現代社会と教育改革	2	学期	
(4) 障害科学科目					
2	○	知的障害の病理	2	学期	注 13
3	○	障害児教育相談とアセスメント	2	学期	
2	○	視覚障害教育総論	2	学期	注 14
3	○	知的障害者教育課程論	2	学期	
3	○	知的障害者指導論	2	学期	
3	○	知的障害教育学総論	2	学期	
3	○	聴覚障害教育総論	2	学期	
3	○	肢体不自由者教育論	2	学期	
(5) 実習科目					
3		特別支援臨床基礎実習 A	2	学期	注 15

3		特別支援臨床基礎実習 B	2	学期	注 15
4		特別支援臨床実習 A	2	学期	
4		特別支援臨床実習 B	2	学期	
4		教育実習 1	5	通年	注 16
4		教育実習 2	5	通年	
4		特別支援学校教育実習	3	通年	
(6) 演習科目					
3		小学校教育授業研究	1	学期	注 16-2
3		保育内容研究	1	学期	
3		特別支援教育授業研究	1	学期	
4		教職実践演習(幼・小)	2	学期	注 17
(7) 卒業研究					
4		卒業研究	6	通年	注 18

(注 10) ① 2 年秋学期に演習の履修に関する説明会を実施する。

② 「教育発達学演習 2」は、「教育発達学演習 1」を取得済みであること。

(注 11) 3 科目のうち、2 科目 4 単位選択必修。

(注 12) 「初等科英語研究」は、「初等科英語活動」を取得済みであること。

(注 13) 2 科目のうち、1 科目 2 単位を選択必修。

(注 14) 6 科目のうち、3 科目 6 単位を選択必修。

(注 15) ① 「特別支援臨床基礎実習 B」は、「特別支援臨床基礎実習 A」を取得済みであること。

② 「特別支援臨床実習 B」は、「特別支援臨床実習 A」を取得済みであること。

③ 「特別支援臨床実習 A」は、「特別支援臨床基礎実習 A・B」を取得済みであること。

④ 「特別支援臨床基礎実習 A・B」「特別支援臨床実習 A・B」は、2 時限連続で開講される。

(注 16) ① 「教育実習 1」は小学校教諭免許状取得のための科目である。

② 「教育実習 2」は幼稚園教諭免許状取得のための科目である。

③ 「特別支援学校教育実習」は特別支援学校教諭免許状取得のための科目である。

④ 「教育実習 1」「教育実習 2」「特別支援学校教育実習」の履修については、P. 75～P. 78 で詳しく説明する。履修前提条件を十分に確認すること。

(注 16-2) 「教育実習 1」を履修するためには、3 年次終了までに「小学校教育授業研究」の単位を修得していることが望ましい。

(注 17) 「教職実践演習(幼・小)」は、「教育実習 1」「教育実習 2」のいずれかを履修中、または取得済みであること。

(注 18) ① 「卒業研究」は、同じ担当教員の「教育発達学演習 2」と同一年度に履修すること。また、事前に担当教員の許可を得なければならない。論文の場合は、12,000 字以上であることを原則とする。履修予定者は、履修登録期間内に必ず各自履修登録すること。

② 音楽、図画工作において演奏または制作によって「卒業研究」を履修する場合は、3,000 字以上の副論文を提出するものとする。

### (PE－Ⅲ) 心理学部開放科目

配当年次	科目名	単位数	開講	備考
2	社会心理学概論	2	学期	
2	生理心理学概論	2	学期	
2	認知心理学概論	2	学期	
2	臨床心理学概論	2	学期	
3	グループアプローチ	2	学期	
3	心身医学	2	学期	
3	家族心理学	2	学期	
4	健康心理学	2	学期	

### 〔7〕卒業研究未提出者・不合格者の9月卒業について

・在学5年目以上の学生が、下記条件を満たしている場合、9月卒業の申請科目に「卒業研究」を含めることができる。

- ① 前年度までに「教育発達学演習2」の単位を取得済であること。
- ② 前年度までに得た「卒業研究」の評価が「D」（提出したが不合格）または「N」（未提出）であること。
- ③ 前年度までに「卒業研究」の指導を1年以上受けていること。
- ④ 卒業希望年度に「卒業研究」と春学期科目の履修で卒業見込みが立つこと。
- ⑤ 卒業研究指導担当者（それが不可能の場合は学科主任）に9月卒業を前提とした卒業研究履修者として、履修の許可を得ていること。

・申請者は、卒業研究を7月第一火または水曜日に教務課へ提出し、審査のうえ合格した場合、春学期末に単位を取得できる。

・上記期日に未提出または審査結果が不合格の場合、**3月卒業予定**の学生と同じ1月の期日に改めて提出することで、3月卒業の可能性はある。

・卒業研究を上記期日に提出し審査に合格した場合でも、他の卒業要件単位が春学期末に未取得ならば、卒業研究は年度末に単位を取得することになる。

・希望者は、教務課指定の履修許可書に卒業研究指導担当者の署名と捺印を受け、他の申請書類と併せて教務課に提出すること。

卒業し、かつ教員免許状を取得するために、修得が必要となる学科科目一覧

部門	科目名	配当 年次	単位 数	小学校 教諭	特別 支援 学校 教諭	幼稚園 教諭	小学校 (主) + 幼稚園	幼稚園 (主) + 小学校	
子ども理解領域	学科基 幹科目	教育発達学概論 A	1	2	2	2	2	2	2
		教育発達学概論 B	1	2	2	2	2	2	2
		教育発達学方法論 (体験活動) A	2	1	1	1	1	1	1
		教育発達学方法論 (体験活動) B	2	1	1	1	1	1	1
	心理学 科目	心理学総論	1	2	2	2	2	2	2
		心理・教育研究法	1	2					
		心理・教育統計学	1	2					
		子どもの学習支援の心理学	1	2	4	4	4	4	4
		子どもの行動理解の心理学	1	2					
		子どもと家族支援の心理学	2	2					
		教育心理学	2	2	2	2	2	2	2
		生涯発達心理学 (乳幼児)	2	2	4	4	2	2	2
		生涯発達心理学 (青年)	3	2			2	2	2
		生涯発達心理学 (成人・老年)	3	2					
	生涯発達心理学 (児童)	3	2	2	2	2	2	2	
	教育学 (初等教育) 科目	教育原論	1	2	2	2	2	2	2
		国語	1	2	2	2	2	2	2
		算数	1	2	2	2	2	2	2
		教育課程編成論	1	2	2	2	2	2	2
		教職概論	1	2	2	2	2	2	2
		日本国憲法	1	2	2	2	2	2	2
		音楽	1	2	2	2	2	2	2
		図画工作	1	2	2	2	2	2	2
		体育	2	2	2	2	2	2	2
		教育の制度と経営	2	2	2	2	2	2	2
		生活	2	2	2	2	2	2	2
		社会	2	2	2	2	2	2	2
		理科	2	2	2	2		2	
		家庭	2	2	2	2		2	
		教育方法論	2	2	2	2	2	2	2
		音楽実技 1	2	1	1	1	1	1	1
		音楽実技 2	2	1			1		1
		音楽実技 3	3	1			1		1
初等科英語活動		3	2						
教育社会学		3	2						
障害科 学科目	特別支援教育学総論 A	2	2	2	2	2	2	2	
	特別支援教育学総論 B	2	2						
	病弱の心理・生理・病理	3	2		2				
	病弱教育総論	3	2		2				
	肢体不自由の生理と病理	3	2		※2				
肢体不自由の心理・生理・病理	3	2		2					

部門	科目名	配当年次	単位数	小学校教諭	特別支援学校教諭	幼稚園教諭	小学校(主)＋幼稚園	幼稚園(主)＋小学校	
子ども支援領域	学科基幹科目	教育発達学演習 1	3	2	2	2	2	2	
		教育発達学演習 2	4	2	2	2	2	2	
	心理学科目	教育相談の理論と方法	3	2	2	2	2	2	2
		障害児・者心理学 1 (コミュニケーション)	3	2	4	2	4	4	4
		障害児・者心理学 2 (行動)	3	2		※			
		障害児・者心理学 3 (学習)	3	2		2			
		<del>肢体不自由者の心理</del>	<del>3</del>	<del>2</del>		※			
		幼児理解の理論と方法	3	2			2	2	2
		心理検査法	3	2					
		学校心理学	4	2					
		感情心理学	4	2					
	教育学(初等教育)科目	理科指導法	2	2	2	2		2	2
		家庭科指導法	2	2	2	2		2	2
		図画工作科指導法	2	2	2	2		2	2
		体育科指導法	2	2	2	2		2	2
		生活科指導法	2	2	2	2		2	2
		保育内容の指導法	2	2			2	2	2
		国語科指導法	3	2	2	2		2	2
		算数科指導法	3	2	2	2		2	2
		社会科指導法	3	2	2	2		2	2
		音楽科指導法	3	2	2	2		2	2
		生徒・進路指導の理論と方法	3	2	2	2		2	2
		道徳教育の指導法	3	2	2	2		2	2
		特別活動の指導法	3	2	2	2		2	2
		保育内容(健康)	3	2			2	2	2
		保育内容(環境)	3	2			2	2	2
		保育内容(人間関係)	3	2			2	2	2
		保育内容(言葉)	3	2			2	2	2
		保育内容(音楽表現)	3	2			2	2	2
		保育内容(造形表現)	3	2			2	2	2
		初等科英語研究	3	2					
		学校経営と学校図書館	3	2					
		学校図書館メディアの構成	3	2					
		学習指導と学校図書館	3	2					
		読書と豊かな人間性	3	2					
		情報メディアの活用	3	2					
		現代社会と教育改革	4	2					
	障害科学科目	知的障害の病理	2	2	2	2	2	2	2
		障害児教育相談とアセスメント	3	2		2			
		視覚障害教育総論	2	2	6	2	6	6	6
		知的障害者教育課程論	3	2		2			
		知的障害者指導論	3	2		※			
		知的障害教育学総論	3	2					
		聴覚障害教育総論	3	2		2			
	肢体不自由者教育論	3	2	2					
	実習科目	特別支援臨床基礎実習 A	3	2					
		特別支援臨床基礎実習 B	3	2					
特別支援臨床実習 A		4	2						
特別支援臨床実習 B		4	2						

	教育実習 1	4	5	5	5		5	
	教育実習 2	4	5			5		5
	特別支援学校教育実習	4	3		3			
演習科目	小学校教育授業研究	3	1					
	保育内容研究	3	1			1		1
	特別支援教育授業研究	3	1		1			
	教職実践演習（幼・小）	4	2	2	2	2	2	2
卒業研究	卒業研究	4	6					
教員免許状取得のために、修得が必要となる学科科目の単位数の合計				102	118	93	118	117

※教員免許状取得のための履修の詳細は「7. 教員免許を取得するために」を熟読した上で、学科が行うオリエンテーション等に必ず出席して、十分に理解すること。

# 教育職員免許状取得の方法





# 1. 教育職員免許状

教育職員免許状は、普通免許状、特別免許状及び臨時免許状に大別される。

## ① 普通免許状

普通免許状は専修免許状（大学院修了等）、一種免許状（4年制大学卒業）、二種免許状（短大卒業）に区分されており、すべての都道府県において効力を有する。

## ② 特別免許状

特別免許状は大学で教職課程を履修していなかったが、社会人となってから職場などで専門的知識・技能などを身につけた者に対して授与される免許状である。

(本学学生は対象外)

## ③ 臨時免許状

臨時免許状は、その免許状の授与を受けたときから3年間、その免許状を授与した授与権者の置かれる都道府県においてのみ効力を有する臨時的な免許状である。

(本学学生は対象外)

※ 本学学生が対象とする免許状は、①の普通免許状である。

※ 授与される①普通免許状②特別免許状は、有効期間10年である。

# 2. 免許状の種類と教科

本学科で取得できる教育職員免許状の種類と教科は、次のとおりである。

- ・ 小学校教諭一種免許状
- ・ 幼稚園教諭一種免許状
- ・ 特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者に関する領域）  
（肢体不自由者に関する領域）  
（病弱者に関する領域）

(注) 1. 中学校、高等学校の教育職員免許状の教職課程は開設していない。

2. 本学の特別支援学校教諭一種免許状は「視覚障害に関する領域」、「聴覚障害に関する領域」の2領域を有していない。

3. 特別支援学校教諭一種免許状を取得するには、小学校教諭一種免許状を取得する必要がある。

### 3. 免許状取得のための要件

教育職員免許状を取得するための必要な要件は、次のとおりである。

#### 1. 小学校教諭一種、幼稚園教諭一種

必要要件	免許状	小学校教諭一種	幼稚園教諭一種
	教職に関する科目 (79~80ページ)	47単位	41単位
	教科又は教職に関する科目 (82ページ)	10単位	10単位
	教科に関する科目 (81ページ)	19単位	15単位
	文部科学省令で定める科目 (教員免許法施行規則第66条の6に関する科目) (84ページ)	日本国憲法 体 育 外国語コミュニケーション 情報機器の操作	2単位 2単位 2単位 2単位
	基 礎 資 格	学士の学位を有すること。(4年制大学卒業)	

- (注) 1. 小学校教諭一種、幼稚園教諭一種の両免許状を取得する場合は、「教職に関する科目」、「教科又は教職に関する科目」、「教科に関する科目」において、重複している科目は共通科目として使用することができる。
2. 小学校教諭一種免許状を取得する場合、上記に加えて介護等体験を行うことが必要である(74ページ参照)。
3. 法令が定める『教職に関する科目』の最低修得単位数は小学校教諭一種 41 単位、幼稚園教諭一種 35 単位であるが、本学は、小学校教諭一種 47 単位、幼稚園教諭一種 41 単位で課程認定を受けている。
4. 法令が定める『教科に関する科目』の最低修得単位数は小学校教諭一種 8 単位、幼稚園教諭一種 6 単位であるが、本学は、小学校教諭一種 19 単位、幼稚園教諭一種 15 単位で課程認定を受けている。

#### 2. 特別支援学校教諭一種

必要要件	免許状	特別支援学校教諭一種 (知的障害者に関する領域) (肢体不自由者に関する領域) (病弱者に関する領域)
	特別支援教育に関する科目 (83ページ)	29単位
	基 礎 資 格	・ 学士の学位を有すること。(4年制大学卒業) ・ 小・中・高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有すること。

- (注) 1. 本学科で特別支援学校教諭一種免許状を取得する場合は、小学校の免許状取得のための履修と並行して履修すること。  
(すなわち、普通免許状が取得できなければ、特別支援学校教諭一種免許状を取得することはできない。)
2. 法令が定める『特別支援教育に関する科目』の最低修得単位数は 26 単位であるが、本学は、29 単位で課程認定を受けている。

## 4. 履修上の注意

1. 卒業要件と教育職員免許状の取得要件は異なる。また科目を履修するにあたっては、履修条件が付されている場合があるので、教育発達学科 履修の方法を参照すること。
2. 卒業要件と教育職員免許状取得要件の科目が重複している場合は、両方に共通して使用することができる。
3. 同一曜日に白金校舎、横浜校舎それぞれの履修を行う場合は、履修登録上の条件があるので注意すること。

## 5. 介護等体験

1997年6月18日、「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」が公布され、1998年4月1日から施行された。そのため本学で小学校教員免許状を取得するためには、「免許状取得のための要件」に加えて、介護等体験を行うことが必要である。

介護等体験の概要は、以下のとおりである。

### 1. 立法の趣旨

教員が個人の尊厳及び社会連帯の理念に関する認識を深めることの重要性にかんがみ、教員の資質向上及び学校教育の一層の充実を図る観点から、当面、小学校及び中学校の教諭の普通免許状取得志願者に、介護等の体験を行わせること。(法律第1条)

### 2. 介護等体験の内容

障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの人々との交流等の体験(法律第2条)

### 3. 介護等体験の実施施設

- ・特別支援学校
- ・文部科学省令で定められた社会福祉施設、文部科学大臣告示で指定された施設

### 4. 介護等体験の期間

文部科学省令により7日間と定められ、社会福祉施設等で5日間、特別支援学校で2日間行うことが、モデルケースとされている。

### 5. 介護等体験の適用対象者

小学校教員免許状取得希望の学生が対象である。

### 6. 介護等体験の実施時期

教育発達学科では、介護等体験を通して学んだことを教育実習でも活かせるように、教育実習を行う前年度(3年次)に介護等体験を実施するように定めている。

※ 2年次生以上対象介護等体験オリエンテーション(体験前年度の秋学期に実施予定)に出席し、希望登録をおこない、所定の申込手続をとることが必要である。

### 7. 教員免許状申請に係る手続

「3」で示した社会福祉施設等及び特別支援学校の長が、介護等体験を行った旨の証明書を発行する。

免許状を申請するにあたり、この証明書を都道府県教育委員会に提出することとなる。

## 6. 教育実習

### 教育実習とは

教育実習は、教育職員免許状取得のために必要であり、大学の授業と教育実習校・園（以下、実習校・園とする）で行う実習によって構成されています。本学では、「教育実習1」「教育実習2」「特別支援学校教育実習」という通年科目がこれに当たり、4年次（最終学年次）において履修します。なお、実習校・園での実習期間は、2週間から4週間程度となります。

教育実習の事前・事後に、各種オリエンテーション・説明会が開催されます。以下にある実習の前提となる履修要件を満たすことの他に、これらに出席し、必要な手続きを各自で行うことが単位修得のために必要です。

また3年次に行われる介護等体験は、小学校教員免許取得のための必須条件です。オリエンテーションなどは2年次から開催されます。これらに出席し、諸手続きを終えていない場合は、教育実習に関する科目を履修することができない場合があります。

### 履修する科目について

取得を希望する免許状によって、必要となる教育実習が異なります。本学では、それぞれの免許状に必要とされる資質に対応した教育実習科目を修得することが必要であると考えており、

小学校教諭一種免許状	⇒	教育実習1
幼稚園教諭一種免許状	⇒	教育実習2
特別支援学校教諭一種（知・肢・病）	⇒	教育実習1+特別支援学校教育実習

の履修を課しています。

ただし、「小学校教諭一種免許状にさらに幼稚園教諭一種免許状も取得したい」「幼稚園に就職を希望しているが、小学校教育についても学んで免許を取得したい」という場合は、必ずしもこの通りではありません。基本的には教育実習1か教育実習2のどちらかを履修し、その単位を修得することで免許を取得することが可能です。7の「教員免許取得のための履修について」をしっかりと読んでください。

### 事前指導・事後指導

「教育実習1」「教育実習2」「特別支援学校教育実習」には、事前指導と事後指導が含まれています。

- 事前指導は、実習に向うに当たり必要な事柄を学ぶ機会
- 事後指導は、実習を振り返り将来教員になるためにさらに深める必要がある課題を見つけ、それに取り組む準備をする機会

これらは、4年次の「教育実習1」「教育実習2」「特別支援学校教育実習」の授業時間外に設定される場合がありますので、学科掲示板などで確認し、必ず出席してください。事前指導・事後指導に出席しない場合は、実習の単位を取得することはできません。

## 実習校・園での実習

実習校・園での学びは、担当教諭の指導により学習指導案の作成や実際の授業を行うことを中心、様々な活動が含まれています。特別活動などにも積極的に参加し、幼児・児童・生徒の理解に努めることが重要です。

また、実習校・園での活動は、その内容を「教育実習日誌」に記入し、担当教諭に提出して指導を受けることとなります。その日の活動を反省し、向上するための大切な資料なので、しっかりと記入してください。

## 教育実習の評価

「教育実習1」「教育実習2」「特別支援学校教育実習」の成績は、実習校・園の担当教諭と学校園長から実習に対する講評、事前指導・事後指導での取り組みなどから、大学として総合的に判断します。

## 実習の前提条件

それぞれの教育実習を履修するためには、3年次終了までに下表の科目の単位を修得していることが必須となります。また特別支援学校教諭の免許取得に必要となる「特別支援学校教育実習」を受講するためには、関連科目の単位を修得しているだけでなく、「教育実習1」を履修するための条件を満たしていることが必要となります。履修年次などを確認し、各自で学習計画をしっかりと立ててください。

### <教育実習1（小学校）>（（ ）内は単位数）

教育実習1を受講するためには、次の条件を満たしていること。

- ・ 次の科目より、**いずれか1科目2単位以上**を修得していること  
教職概論（2）  
教育の制度と経営（2）
- ・ 次の科目より、**いずれか2科目4単位以上**を修得していること  
教育心理学（2）  
生涯発達心理学（児童）（2）  
教育相談の理論と方法（2）
- ・ 次の**教科の指導法**より、**4科目8単位以上**を修得していること  
国語科指導法（2）  
社会科指導法（2）  
算数科指導法（2）  
理科指導法（2）  
生活科指導法（2）  
音楽科指導法（2）  
図画工作科指導法（2）  
家庭科指導法（2）  
体育科指導法（2）

### <教育実習2（幼稚園）>（（ ）内は単位数）

教育実習2を受講するためには、次の条件を満たしていること。

- ・ 次の科目より、**いずれか1科目2単位**を修得していること  
教職概論（2）  
教育の制度と経営（2）
- ・ 次の科目より、**いずれか2科目4単位以上**を修得していること  
教育心理学（2）  
生涯発達心理学（乳幼児）（2）  
教育相談の理論と方法（2）
- ・ 次の科目は**すべて**単位を修得していること  
保育内容の指導法（2）  
保育内容研究（1）  
音楽実技1（1）  
音楽実技2（1）
- ・ 次の**保育の指導法**より、**3科目6単位以上**を修得していること。ただし、○印の付いた科目の**いずれか1科目2単位以上**を修得していること。  
保育内容（健康）（2）  
保育内容（環境）（2）  
保育内容（人間関係）（2）  
保育内容（言葉）（2）  
○保育内容（音楽表現）（2）  
○保育内容（造形表現）（2）

<特別支援学校教育実習> ( )内は単位数

特別支援学校教育実習を受講するためには、前述の教育実習1の前提条件を満たした上で、次の条件を満たしていること。

- ・次の科目はすべて単位を修得していること
  - 特別支援教育学総論A (2)
  - 知的障害の病理 (2)
  - 特別支援教育授業研究 (1)
- ・次の科目より、いずれか1科目2単位以上を修得していること。
  - 病弱の心理・生理・病理 (2)
  - 肢体不自由の心理・生理・病理 (2)
  - ~~肢体不自由の生理と病理 (2)~~
  - ~~肢体不自由者の心理 (2)~~
- ・次の科目より、いずれか2科目4単位以上を修得していること。
  - 知的障害者教育課程論 (2)
  - 知的障害者指導論 (2)
  - 肢体不自由者教育論 (2)
  - 障害児教育相談とアセスメント (2)
- ・次の科目より、いずれか2科目4単位以上を修得していること。ただし○印の付いた科目から1科目2単位以上を修得していること。
  - 視覚障害教育総論 (2)
  - 聴覚障害教育総論 (2)
  - 障害児・者心理学1 (コミュニケーション) (2)
  - 障害児・者心理学3 (学習) (2)

また、これらの科目は教育実習を履修するために必要な要件であり、教員免許取得に必須となる科目（国語や算数などの教科に関する科目や指導法などの教職に関する科目など）は他にもあります。希望する免許の種類と必要な科目を確認し、単位を計画的に修得してください。



## 7. 教員免許を取得するために

### 履修することが必要な科目

教員免許を取得するためには、所定の教科や教職に関する科目を履修し、その単位を修得していることが必要です。この科目は、取得しようとする教員免許によって異なります。また、これらの科目の他に文部科学省令で定める科目（教員免許法施行規則第 66 条の 6 に関する科目、p.84 参照）があります。

本学心理学部教育発達学科では、各教員免許で以下の通り修得すべき科目を定めているので、学習計画を立てる際の参考にしてください。

#### 7.1. 教職に関する科目

##### ＜小学校教諭一種免許状＞

下表の科目の内、☆印のいずれかとその他の全ての科目を履修し、単位を修得することが必要です。また教育実習 1 は、履修するための前提条件科目（p. 77 参照）があり、実習を行う前年度までに修得済みであることが必要となります。

免許法施行規則に規定する科目区分	開講科目	単位	履修年次	備考
教職の意義等に関する科目	教職概論	2	1	
教育の基礎理論に関する科目	教育原論	2	1	法令では 1 科目 2 単位以上修得することと定めている。
	教育心理学	2	2	
	生涯発達心理学（児童）	2	3	
	教育の制度と経営	2	2	
教育課程及び指導法に関する科目	教育課程編成論	2	1	
	国語科指導法	2	3	
	社会科指導法	2	3	
	算数科指導法	2	3	
	理科指導法	2	2	
	生活科指導法	2	2	
	音楽科指導法	2	3	
	図画工作科指導法	2	2	
	家庭科指導法	2	2	
	体育科指導法	2	2	
	道徳教育の指導法	2	3	
	特別活動の指導法	2	3	
	教育方法論	2	2	
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒・進路指導の理論と方法	2	3	
	教育相談の理論と方法	2	3	
教育実習	☆教育実習 1	5	4	
	☆教育実習 2			
教職実践演習	教職実践演習（幼・小）	2	4	
	合 計	47		

・法令が定める、小学校教諭一種免許状における「教職に関する科目」の最低修得単位数は 41 単位であるが、本学は 47 単位で課程認定を受けている。なお、最低修得単位数 41 単位を超えて修得した「教職に関する科目」の単位数は、小学校教諭一種免許状における「教科又は教職に関する科目」（p.82 参照）に充てられる。

☆は選択必修科目であり、

- ①小学校免許を主免許として幼稚園免許を取得する者は「教育実習1」を修得すること。
- ②幼稚園免許を主免許とする者は「教育実習2」を修得すること。
- ③「教育実習1」と「教育実習2」はいずれか1科目のみ履修できる。ただし、特に希望する者に限り「教育実習1」と「教育実習2」の2科目の履修を認めることがある。

### <幼稚園教諭一種免許状>

下表の科目について、☆印のいずれかその他の全ての科目を履修し、単位を修得することが必要です。また教育実習2を履修するための前提条件科目（p.77 参照）は、実習を行う前年度までに修得済みであることが必要となります。

免許法施行規則に規定する科目区分	開講科目	単位	履修年次	備考
教職の意義等に関する科目	教職概論	2	1	
教育の基礎理論に関する科目	教育原論	2	1	法令では1科目2単 位以上を修得するこ とと定めている。
	教育心理学	2	2	
	生涯発達心理学（児童）	2	3	
	生涯発達心理学（乳幼児）	2	2	
	教育の制度と経営	2	2	
教育課程及び指導法に関する科目	教育課程編成論	2	1	
	保育内容の指導法	2	2	
	保育内容（健康）	2	3	
	保育内容（環境）	2	3	
	保育内容（人間関係）	2	3	
	保育内容（言葉）	2	3	
	保育内容（音楽表現）	2	3	
	保育内容（造形表現）	2	3	
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	幼児理解の理論と方法	2	3	
	教育相談の理論と方法	2	3	
教育実習	☆教育実習2	5	4	
	☆教育実習1			
教職実践演習	教職実践演習（幼・小）	2	4	
	合 計	41		

・法令が定める、幼稚園教諭一種免許状における「教職に関する科目」の最低取得単位数は35単位であるが、本学は41単位で課程認定を受けている。なお、最低修得単位数35単位を超えて修得した「教職に関する科目」の単位数は、幼稚園教諭一種免許状における「教科又は教職に関する科目」（p.82 参照）に充てられる。

☆は選択必修科目であり、

- ①幼稚園免許を主免許とする者は「教育実習2」を修得すること。
- ②小学校免許を主免許として幼稚園免許を取得する者は「教育実習1」を修得すること。
- ③「教育実習1」と「教育実習2」はいずれか1科目のみ履修できる。ただし、特に希望する者に限り「教育実習1」と「教育実習2」の2科目の履修を認めることがある。

## 7.2. 教科に関する科目

### <小学校教諭一種免許状>

下表について、全ての科目を履修し、単位を修得することが必要です。

免許法施行規則に規定する科目区分	開講科目	単位	履修年次	備考
国語 (書写を含む)	国語	2	1	法令ではすべての科目のうち、8単位以上修得することと定めている。
社会	社会	2	2	
算数	算数	2	1	
理科	理科	2	2	
生活	生活	2	2	
音楽	音楽	2	1	
	音楽実技1	1	2	
図画工作	図画工作	2	1	
家庭	家庭	2	2	
体育	体育	2	2	
	合計	19		

・法令が定める、小学校教諭一種免許状における「教科に関する科目」の最低取得単位数は8単位であるが、本学は19単位で課程認定を受けている。最低修得単位数8単位を超えて修得した「教科に関する科目」の単位数は、小学校教諭一種免許状における「教科又は教職に関する科目」(p.82参照)に充てられる。

・幼稚園免許を主免許として小学校免許を取得する場合、「社会」「理科」「家庭」の3科目から1科目2単位を修得すること。

### <幼稚園教諭一種免許状>

下表について、全ての科目を履修し、単位を修得することが必要です。

免許法施行規則に規定する科目区分	開講科目	単位	履修年次	備考
国語	国語	2	1	法令ではすべての科目のうち、6単位以上修得することと定めている。
算数	算数	2	1	
生活	生活	2	2	
音楽	音楽	2	1	
	音楽実技1	1	2	
	☆音楽実技2	1	2	
	☆音楽実技3	1	3	
図画工作	図画工作	2	1	
体育	体育	2	2	
	合計	15		

・法令が定める、幼稚園教諭一種免許状における「教科に関する科目」の最低取得単位数は6単位であるが、本学は15単位で課程認定を受けている。最低修得単位数6単位を超えて修得した「教科に関する科目」の単位数は、幼稚園教諭一種免許状における「教科又は教職に関する科目」(p.82参照)に充てられる。

・小学校免許を主免許として幼稚園免許を取得する場合の☆印の科目は、必ずしも単位取得の必要はない。

### 7.3. 教科または教職に関する科目

#### <小学校教諭一種免許状>

下表の科目から 10 単位以上修得する必要があります。

免許法施行規則に規定する科目区分	開講科目	単位	履修年次	備考
教科又は教職に関する科目	小学校の「教職に関する科目」「教科に関する科目」から、法令上の最低修得単位数（注1）を超えて修得した科目			
	子どもと家族支援の心理学	2	2	
	初等科英語活動	2	3	
	学校心理学	2	4	
	合 計	10		

注1：法令が定める、小学校教諭一種免許状における「教職に関する科目」の最低取得単位数は 41 単位、「教科に関する科目」の最低取得単位数は 8 単位である。

#### <幼稚園教諭一種免許状>

下表の科目から 10 単位以上修得する必要があります。

免許法施行規則に規定する科目区分	開講科目	単位	履修年次	備考
教科又は教職に関する科目	幼稚園の「教職に関する科目」「教科に関する科目」から、法令上の最低修得単位数（注2）を超えて修得した科目			
	子どもと家族支援の心理学	2	2	
	初等科英語活動	2	3	
	道徳教育の指導法	2	3	
	合 計	10		

注2：幼稚園教諭一種免許状における「教職に関する科目」の最低取得単位数は 35 単位、「教科に関する科目」の最低取得単位数は 6 単位である。

#### 7.4. 特別支援学校教諭一種（知・肢・病）

免許法施行規則に規定する科目区分		中心となる領域	含む領域	開講科目	単位	履修年次	備考	
特別支援教育の基礎理論に関する科目				※特別支援教育学総論 A	2	1	法令では1科目2単位以上修得することが定められている。	
				特別支援教育学総論 B	2	2		
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	知的		※知的障害の病理	2	2	①「中心となる領域」についてそれぞれ1単位以上修得すること	
		肢体不自由	病弱	※肢体不自由の心理・生理・病理	2	3		
		病弱		※病弱の心理・生理・病理	2	3		
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	知的	肢体不自由	病弱	※知的障害者教育課程論	2	3	②「中心となる領域について」それぞれ2単位以上修得すること
			病弱		☆知的障害者指導論	2	3	
				☆障害児・者心理学2（行動）	2	3		
				※障害児教育相談とアセスメント	2	3		
		肢体不自由	病弱	※肢体不自由者教育論	2	3		
	病弱	肢体不自由	※病弱教育総論	2	3			
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目、心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	知的	肢体不自由		知的障害教育学総論	2	3	①②を満たした上で、法令では16単位以上修得することが定められている。
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	聴覚		※聴覚障害教育総論	2	3	法令では5単位以上修得されているが、開講科目の関係により4科目8単位の修得が必要となる。	
		重複・LD等	視覚	※障害児・者心理学1（コミュニケーション）	2	2		
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	視覚		※視覚障害教育総論	2	2		
		重複・LD等	聴覚	※障害児・者心理学3（学習）	2	2		
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習				※特別支援学校教育実習	3	4		

・『中心となる領域』については、一部を省略して掲載している。

・法令が定める『特別支援教育に関する科目』の最低修得単位数は26単位であるが、本学は29単位で課程認定を受けている。

・※印は免許を取得するための必修科目であり、すべての科目を修得しなければならない。

・☆印は選択必修科目であり、2科目中1科目以上を選択し修得しなければならない。

## 7.5. 文部科学省令で定める科目（教員免許法施行規則第 66 条 6 に関する科目）

文部科学省令で定める科目	法令上必要な 単位数	本学における開講科目	単位	履修 年次
日本国憲法	2	日本国憲法	2	1
体育	2	体育	2	1
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション 1A 英語コミュニケーション 1B 英語コミュニケーション 2A 英語コミュニケーション 2B	1 1 1 1	1 1 1 1
情報機器の操作	2	コンピュータリテラシー1 コンピュータリテラシー2	2 2	1 1

- ・「日本国憲法」は、学科科目「日本国憲法」を修得すること
- ・「体育」は、学科科目「体育」を修得すること。
- ・「外国語コミュニケーション」は、明治学院共通科目「英語コミュニケーション 1A、1B、2A、2B」より 2 科目 2 単位以上修得すること。
- ・「情報機器の操作」は、明治学院共通科目「コンピュータリテラシー1、2」より 1 科目 2 単位以上修得すること。

## 8. 学校図書館司書教諭について

### 学校図書館司書教諭とは

学校図書館法で定められた、学校図書館の専門的職務を担う教員です。具体的には教諭として採用された者が学校内の役割としてその職務を担当し、学校図書館資料の選択・収集・提供や子どもの読書活動に関する指導等を行うなど、学校図書館の運営・活用について中心的な役割を担います。学級数が合計 12 学級以上の学校には、必ず司書教諭を置かなければなりません。

### 学校図書館司書教諭資格の取得のために履修することが必要な科目

学校図書館司書教諭の資格を取得するためには、下表の科目をすべて履修し、修得しなければなりません。

開 講 科 目	単 位 数
学 校 経 営 と 学 校 図 書 館	2
学 校 図 書 館 メ デ ィ ア の 構 成	2
学 習 指 導 と 学 校 図 書 館	2
読 書 と 豊 かな 人 間 性	2
情 報 メ デ ィ ア の 活 用	2
合 計	10

## 9. 教育職員免許状の授与申請

免許状を取得するには、授与権者である都道府県の教育委員会に申請する必要がある。授与申請には以下の二つの方法がある。

### 一括申請

本学が東京都教育委員会に教育職員免許状の授与申請を一括して代行申請する方法。

卒業見込みの4年次生は、免許状を取得するために必要な単位を修得見込みの場合、一括申請の申し込みができる。

申請希望者は、「教育職員免許状一括申請説明会」に出席し、申し込みの手続きをすること。説明会は3月下旬に実施される。説明会欠席の場合は、一括申請はできない（個人申請となる）。

### 個人申請

卒業後に、本人が居住する都道府県の教育委員会に免許状の授与申請を行う方法。

## 10. 教員採用試験

### 1. 公立学校の教員になるには

都道府県等の教育委員会で実施する教員採用試験に合格しなくてはならない。試験時期は例年7月頃に行われるが、地方ごとに統一して行われる。この試験に合格すると教員採用候補者名簿に登載され、欠員を補充する形で採用されることになる。

東京都公立学校教員採用試験要項はキャリアセンターで配布（例年4月下旬、掲示板を確認すること）、その他の道府県については各教育委員会に問い合わせること。

### 2. 私立学校の教員になるには

(1) 私立学校の求人直接応募する。

(2) 希望する都道府県の私学協会（東京私立初等学校協会、神奈川県私立小学校協会など）の委託制度に登録する。



## 11. その他

### 科目等履修生による教育職員免許状の取得方法

卒業までに教育職員免許状取得のために必要な科目の単位を修得できなかった場合は、本学科卒業後科目等履修生として不足単位を修得することで、免許状を取得することができる。

※ 科目等履修生の出願書類は、毎年3月上旬に教務部窓口にて配布する。

### 教員免許更新制度

2009年4月1日以降に授与される普通免許状または特別免許状の有効期間は、所要資格を得てから10年後の年度末までとなる。有効期間満了日の2年前から満了日（修了確認期限）までに大学などが開設する30時間の免許状更新講習を受講・修了し、免許管理者（教育委員会）にて修了確認を受けることで免許状が更新される。

更新講習の主な受講対象者は、①現職教員②教員採用内定者③教育委員会や学校法人などが作成した臨時任用（または非常勤）教員リストに登載されている者④過去に教員として勤務した経験のある者、となっている。

受講対象者であるか否かにかかわらず、更新講習を受講・修了しなかった場合は失効することになるが、免許状を返納する必要はない。更新講習を受講・修了することによって、有効な免許状を再び取得することができる。また、免許状を取得した際に、授与の基礎となった教職課程の単位まで無効にするものではない。よって、履歴書などに教員免許を所持している旨の記載は可能である。ただし、更新講習を受講する必要がある旨を併記する必要がある。

例）小学校教諭一種免許状（更新講習未受講） 等



# 心理学部専任教員一覽



## 心理学部専任教員一覧

### 心理学科

氏名	主な担当領域
伊藤 拓	学校心理学
金沢 吉展	健康心理学／臨床心理学
川端 一光	教育心理学／心理統計学
金城 光	認知心理学
清水 良三	心理臨床動作学
杉山 恵理子	グループアプローチ／福祉心理学
平子 雪乃	心理実習／心理演習
田中 知恵	産業・組織心理学／社会心理学
滑川 瑞穂	臨床心理アセスメント
西園マーハ 文	臨床精神医学
野末 武義	家族心理学
野村 信威	生涯発達心理学
花田 安弘	生理心理学
宮本 聡介	社会心理学／社会的認知
森本 浩志	認知行動療法

### 教育発達学科

氏名	主な担当領域
緒方 明子	障害児・者心理学
小野 昌彦	教育臨床心理学
垣花 真一郎	教育心理学
鞍馬 裕美	教育経営学
小林 潤一郎	障害児医学／発達小児科学
佐藤 公	社会科教育学
渋谷 恵	比較・国際教育学
杉山 雅俊	理科教育学
谷川 夏実	保育学・幼児教育学
玉腰 和典	体育科教育学
辻 宏子	数学教育学
手塚 千尋	美術科教育学
中村 敦雄	国語科教育学
根本 淳子	教育方法学
松永 あけみ	発達心理学／保育心理学
水戸 博道	音楽科教育学
宮崎 眞	特別支援教育学



# 諸資格





# 1. 社会福祉主事任用資格

## 社会福祉主事任用資格が取得できる学科

社会福祉主事任用資格は、すべての学科の学生が取得することができます。

## 社会福祉主事の職務

国、地方公共団体、社会福祉法人など社会福祉事業を経営する者は、福祉サービスを必要としている人たちが心身ともに健やかに育成され、または社会、経済、文化その他の活動に参加する機会が与えられ、その年令、環境、心身の状況に応じて、地域において必要な福祉サービスを提供できるようにしなければなりません。このことに基づき、地方公共団体は、福祉に関する事務所を設置しており、ここには社会福祉主事をおくよう社会福祉法において義務づけられています。

社会福祉主事は、その事務所において生活保護法、児童福祉法、母子及び寡婦福祉法、老人福祉法、身体障害者福祉法、及び知的障害者福祉法の定める援護、育成または更生の措置に関する事務を行うことを職務としています。

## 社会福祉主事任用資格を得るには

20歳以上の者で、人格高潔で思慮が円熟し、社会福祉の増進に熱意があり、かつ下記1～3のいずれかに該当する者が任用資格を得られます。**任用資格とは、公務員試験に合格して公務員となった者にあてはまるものであり、この要件が満たされなければ社会福祉主事にはなれません。**

1. 大学において厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目を修め卒業した者
2. 厚生労働大臣の指定する養成機関又は講習会の課程を修了した者
3. 厚生労働大臣の指定する社会福祉事業従事者試験に合格した者

本学学生は、次ページに挙げる『**社会福祉法に定める科目**』を**3科目以上修得**することで、社会福祉主事任用資格を得ることができます。『社会福祉法に定める科目』に対し、『本学で開講している科目』を表記していますので、これらの科目を修得してください。

『本学で開講している科目』について、その科目を履修することができる学科を「○」で示しています、各科目の履修に際しては条件が付される場合もあります。詳しくは所属学部の履修要項でご確認ください。なお表では学科名称に略称を用いています。(LE: 英文学科、LF: フランス文学科、LA: 芸術学科、EE: 経済学科、EB: 経営学科、EG: 国際経営学科、SG: 社会学科、SW: 社会福祉学科、JU: 法律学科、JC: 消費情報環境法学科、JP: 政治学科、KS: 国際学科、KC: 国際キャリア学科、PS: 心理学科、PE: 教育発達学科)

本資格の取得要件を満たしている方には、証明書を発行いたします。お求めになる場合は教務部までお問い合わせください。

## 社会福祉主事の資格に関する科目

社会福祉法に定める科目名	本学で開講している科目名	履修できる学科 (2011～2014年度入学生)														
		LE	LF	LA	EE	EB	EG	SG	SW	JU	JC	JP	KS	KC	PS	PE
社会福祉概論	社会福祉学概論 A・B								○						※A	
	D1231 社会福祉学 1 D1232 社会福祉学 2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
社会福祉援助技術論	ソーシャルワーク 1A								○							
社会福祉調査論	社会福祉調査								○							
社会福祉行政論	社会福祉法制							○	○							
社会保障論	社会保障論 A・B				○	○	○	○	○							
公的扶助論	公的扶助論 A							○	○							
児童福祉論	児童福祉論 A・B							○	○							
家庭福祉論	家庭福祉論							○	○							
保育理論	保育内容の指導法															○
身体障害者福祉論	身体障害者福祉論							○	○							
知的障害者福祉論	知的障害者福祉論							○	○							
老人福祉論	高齢者福祉論 A・B							○	○							
地域福祉論	地域福祉論 A							○	○							
法学	D1201 法学(日本国憲法を含む)1	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○
	D1202 法学(日本国憲法を含む)2												○			
	2309 法学原論												○			
民法	民法 A・B				○	○	○	○	○			○			○	
	民法総則 1・2									○	○	○				
行政法	行政法 A・B				○	○	○	○	○							
	行政法 1A・1B									※A	※A	※A				
	行政法 1-1・1-2									※B	※B	※B				
	行政法 2A・2B									※A	※A	※A				
	行政法 2-1・2-2									※B	※B	※B				
経済学	経済学概論 1・2					○	○	○	○	○	○	○				
	財政学 1・2				○	○	○			○	○	○				
	ミクロ経済政策				○	○	○					○				
	マクロ経済政策				○	○	○					○				
社会政策	社会政策論 1・2				※A	※A	※A	※A	※A	※A	※A	※A				
	労働経済論 1・2				※A	※A	※A									
	労働経済学 1・2				※B	※B	※B									
心理学	心理学概論 A・B															○
	心理学概論								○							
	子どもの学習支援の心理学 教育相談の理論と方法 生涯発達心理学(成人・老年)															※C
	心理学総論 A															※D
	心理学総論															※B
社会学	社会学概論 A・B	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
	社会学概論								○							
教育学	教育の思想と歴史	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	教育原論															○
医学一般	医学知識								○							
介護概論	介護概論								○							

- (注1) 『本学で開講している科目』がない『社会福祉法に定める科目』は上記の表に掲載していません。
- (注2) 『本学で開講している科目』において、科目名の後にA・B、1・2が付されている科目は、2科目セットで修得しなければ『社会福祉法に定める科目』1科目と数えることができません。
- (注3) 「子どもの学習支援の心理学」・「教育相談の理論と方法」・「生涯発達心理学(成人・老年)」は3科目修得しなければ『社会福祉法に定める科目』1科目として数えることができません。
- (注4) 『社会福祉法に定める科目』の同じ区分で、本学で開講している科目を複数科目修得しても、1科目と数えます。
- 例) 社会福祉学科生が「社会福祉学概論 A・B」と「社会福祉学 1・2」の合計 4 科目を修得した場合は、『社会福祉法に定める科目』の『社会福祉概論』1科目の修得と数えます。

(注5) 表中の注釈は以下の意味です。

※A：2013年度以前入学生のみ履修可能です。

※B：2014年度以降入学生のみ履修可能です。

※C：2013年度以前入学生のみ社会福祉主事の資格に使用可能です。2014年度以降入学生は履修可能ですが、社会福祉主事の資格には使用不可能です。

※D：2012～2013年度入学生のみ履修可能です。

## 2. 児童福祉司任用資格

### 児童福祉司の職務

児童福祉法に基づき、児童相談所には児童福祉司をおくことが義務づけられています。

児童福祉司は、児童相談所長の命を受けて、児童の保護、その他児童の福祉に関する事項について、相談に応じ、専門的技術に基づいて必要な指導を行う等、児童の福祉の増進に努めることを職務としています。

### 児童福祉司に任用される要件

1. 学校教育法に基づく大学において心理学、教育学もしくは社会学を専修する学科又はこれに相当する課程を修め卒業した者であって、厚生労働省令で定める施設において1年以上児童その他の福祉に関する相談に応じ、助言、指導その他の援助を行う業務に従事した者
2. 社会福祉主事として2年以上、児童福祉事業に従事した者
3. 厚生労働大臣の指定する児童福祉司又は児童福祉施設の職員を養成する学校その他の施設を卒業し又は厚生労働大臣の指定する講習会の課程を修了した者
4. その他（略）

上記のいずれかに該当する者はこの任用資格が得られます。**任用資格とは、公務員試験に合格して公務員となった者にあてはまるものであり、この要件が満たされなければ児童福祉司にはなれません。**

本学社会学科生・社会福祉学科生・心理学科生・教育発達学科生は、卒業することで、上記1に定める「心理学、教育学もしくは社会学を専修する学科又はこれに相当する課程を修め卒業した者」であることとなります。その証明は卒業証明書で行うことができます。

児童福祉司任用資格の取得には、これに加えて「厚生労働省令で定める施設において1年以上児童その他の福祉に関する相談に応じ、助言、指導その他の援助を行う業務に従事」する必要があります。

2014年度生用 心理学部教育発達学科 履修要項 教育発達学科関係 変更・訂正箇所について  
 (心理学科に関する内容の部分は、記載していません。青字部分はこの対照表における説明です。)

新旧対照表

ページ変更日	新	旧																																																																												
P.56 2016年3月22日	<p>明治学院共通科目履修の方法 [E群科目] (卒業要件外)</p> <p><b>3.海外インターンシップ°関連科目</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>以下は、海外インターンシップ°に参加した学生が、単位を取得することができる科目である。</li> <li>インターンシップ°先によって別途配当年次が決められている場合があるので、必ず出願時に確認すること。</li> <li>これらの科目は各学科が定める年間履修単位の上限には含まれません。</li> <li>これらの科目は P・F 評価となるため、GPA には含まれません。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>配当年次</th> <th>科目名</th> <th>単位数</th> <th>開講学期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>E1961 海外インターンシップ° 課題研究 A</td> <td>2</td> <td>春または秋</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>E1962 海外インターンシップ° 課題研究 B</td> <td>2</td> <td>春または秋</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>E1963 海外インターンシップ° A</td> <td>4</td> <td>春または秋</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>E1964 海外インターンシップ° B</td> <td>4</td> <td>春または秋</td> </tr> </tbody> </table>	配当年次	科目名	単位数	開講学期	1	E1961 海外インターンシップ° 課題研究 A	2	春または秋	1	E1962 海外インターンシップ° 課題研究 B	2	春または秋	1	E1963 海外インターンシップ° A	4	春または秋	1	E1964 海外インターンシップ° B	4	春または秋	<p>(新規追加) (卒業要件外)</p>																																																								
配当年次	科目名	単位数	開講学期																																																																											
1	E1961 海外インターンシップ° 課題研究 A	2	春または秋																																																																											
1	E1962 海外インターンシップ° 課題研究 B	2	春または秋																																																																											
1	E1963 海外インターンシップ° A	4	春または秋																																																																											
1	E1964 海外インターンシップ° B	4	春または秋																																																																											
P.60 2016年9月29日	<p>〔2〕卒業までに必要な単位数および教員免許状取得に必要な単位数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">部 門</th> <th rowspan="2">卒業に必要な単位数</th> <th colspan="2">卒業に必要な単位と教員免許状取得に必要な単位を組み合わせた単位数 (注 2)</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>小学校</th> <th>+</th> <th>特別支援学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">学 科 科 目</td> <td rowspan="6">子ども支援領域 (PE-II)</td> <td>学科基幹科目</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>心理学科目</td> <td>6</td> <td>8(6)※</td> </tr> <tr> <td>教育学(初等教育)科目</td> <td>0</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>障害科学科目</td> <td>8</td> <td>12(14)※</td> </tr> <tr> <td>実習科目</td> <td>0</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>演習科目</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td colspan="2">選択科目 (PE-I, PE-II, PE-III)</td> <td>56(注 1)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>124</td> <td>132</td> </tr> </tbody> </table> <p>※特別支援学校教諭一種免許 選択必修科目の修得状況により心理学科目および障害科学科目の必要単位数が異なる。詳細は P.66～68 および P.83 を参照すること。</p>	部 門		卒業に必要な単位数	卒業に必要な単位と教員免許状取得に必要な単位を組み合わせた単位数 (注 2)				小学校	+	特別支援学校	学 科 科 目	子ども支援領域 (PE-II)	学科基幹科目	4	4	心理学科目	6	8(6)※	教育学(初等教育)科目	0	24	障害科学科目	8	12(14)※	実習科目	0	8	演習科目	0	3	選択科目 (PE-I, PE-II, PE-III)		56(注 1)	0	計		124	132	<p>〔2〕卒業までに必要な単位数および教員免許状取得に必要な単位数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">部 門</th> <th rowspan="2">卒業に必要な単位数</th> <th colspan="2">卒業に必要な単位と教員免許状取得に必要な単位を組み合わせた単位数 (注 2)</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>小学校</th> <th>+</th> <th>特別支援学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">学 科 科 目</td> <td rowspan="6">子ども支援領域 (PE-II)</td> <td>学科基幹科目</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>心理学科目</td> <td>6</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>教育学(初等教育)科目</td> <td>0</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>障害科学科目</td> <td>8</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>実習科目</td> <td>0</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>演習科目</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td colspan="2">選択科目 (PE-I, PE-II, PE-III)</td> <td>56(注 1)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>124</td> <td>132</td> </tr> </tbody> </table> <p>(子ども支援領域の心理学科目、障害科学科目の必要単位数の注釈について)</p>	部 門		卒業に必要な単位数	卒業に必要な単位と教員免許状取得に必要な単位を組み合わせた単位数 (注 2)				小学校	+	特別支援学校	学 科 科 目	子ども支援領域 (PE-II)	学科基幹科目	4	4	心理学科目	6	8	教育学(初等教育)科目	0	24	障害科学科目	8	12	実習科目	0	8	演習科目	0	3	選択科目 (PE-I, PE-II, PE-III)		56(注 1)	0	計		124	132
部 門		卒業に必要な単位数	卒業に必要な単位と教員免許状取得に必要な単位を組み合わせた単位数 (注 2)																																																																											
			小学校	+	特別支援学校																																																																									
学 科 科 目	子ども支援領域 (PE-II)	学科基幹科目	4	4																																																																										
		心理学科目	6	8(6)※																																																																										
		教育学(初等教育)科目	0	24																																																																										
		障害科学科目	8	12(14)※																																																																										
		実習科目	0	8																																																																										
		演習科目	0	3																																																																										
選択科目 (PE-I, PE-II, PE-III)		56(注 1)	0																																																																											
計		124	132																																																																											
部 門		卒業に必要な単位数	卒業に必要な単位と教員免許状取得に必要な単位を組み合わせた単位数 (注 2)																																																																											
			小学校	+	特別支援学校																																																																									
学 科 科 目	子ども支援領域 (PE-II)	学科基幹科目	4	4																																																																										
		心理学科目	6	8																																																																										
		教育学(初等教育)科目	0	24																																																																										
		障害科学科目	8	12																																																																										
		実習科目	0	8																																																																										
		演習科目	0	3																																																																										
選択科目 (PE-I, PE-II, PE-III)		56(注 1)	0																																																																											
計		124	132																																																																											

ページ変更日	新	旧																																																																																				
P.62 2016年3月22日	<p>(PE-I) 子ども理解領域</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">(4) 障害科学科目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>*</td> <td>特別支援教育学総論 A</td> <td>2</td> <td>学期</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td>特別支援教育学総論 B</td> <td>2</td> <td>学期</td> <td>注 9</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td>虚弱の心理・生理・病理</td> <td>2</td> <td>学期</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td>病弱教育総論</td> <td>2</td> <td>学期</td> <td></td> </tr> <tr> <td><del>3</del></td> <td></td> <td><del>肢体不自由の生理と病理</del></td> <td><del>2</del></td> <td><del>学期</del></td> <td><del>廃止</del></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td>肢体不自由の心理・生理・病理</td> <td>2</td> <td>学期</td> <td>新設</td> </tr> </tbody> </table> <p>(「肢体不自由の生理と病理」、「肢体不自由者の心理」の 2 科目に代えて「肢体不自由の心理・生理・病理」が履修できる。)</p>	(4) 障害科学科目						3	*	特別支援教育学総論 A	2	学期		3		特別支援教育学総論 B	2	学期	注 9	3		虚弱の心理・生理・病理	2	学期		3		病弱教育総論	2	学期		<del>3</del>		<del>肢体不自由の生理と病理</del>	<del>2</del>	<del>学期</del>	<del>廃止</del>	3		肢体不自由の心理・生理・病理	2	学期	新設	<p>(PE-I) 子ども理解領域</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">(PE-I) 子ども理解領域 (4) 障害科学科目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>*</td> <td>特別支援教育学総論 A</td> <td>2</td> <td>学期</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td>特別支援教育学総論 B</td> <td>2</td> <td>学期</td> <td>注 9</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td>虚弱の心理・生理・病理</td> <td>2</td> <td>学期</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td>病弱教育総論</td> <td>2</td> <td>学期</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td>肢体不自由の生理と病理</td> <td>2</td> <td>学期</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(新設)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	(PE-I) 子ども理解領域 (4) 障害科学科目						3	*	特別支援教育学総論 A	2	学期		3		特別支援教育学総論 B	2	学期	注 9	3		虚弱の心理・生理・病理	2	学期		3		病弱教育総論	2	学期		3		肢体不自由の生理と病理	2	学期				(新設)			
(4) 障害科学科目																																																																																						
3	*	特別支援教育学総論 A	2	学期																																																																																		
3		特別支援教育学総論 B	2	学期	注 9																																																																																	
3		虚弱の心理・生理・病理	2	学期																																																																																		
3		病弱教育総論	2	学期																																																																																		
<del>3</del>		<del>肢体不自由の生理と病理</del>	<del>2</del>	<del>学期</del>	<del>廃止</del>																																																																																	
3		肢体不自由の心理・生理・病理	2	学期	新設																																																																																	
(PE-I) 子ども理解領域 (4) 障害科学科目																																																																																						
3	*	特別支援教育学総論 A	2	学期																																																																																		
3		特別支援教育学総論 B	2	学期	注 9																																																																																	
3		虚弱の心理・生理・病理	2	学期																																																																																		
3		病弱教育総論	2	学期																																																																																		
3		肢体不自由の生理と病理	2	学期																																																																																		
		(新設)																																																																																				
P.62 2016年3月22日	<p>(PE-I) 子ども支援領域</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">(2) 心理学科目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>*</td> <td>教育相談の理論と方法</td> <td>2</td> <td>学期</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>○</td> <td>障害児・者心理学 1 (コミュニケーション)</td> <td>2</td> <td>学期</td> <td rowspan="4">注 11</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>○</td> <td>障害児・者心理学 2(行動)</td> <td>2</td> <td>学期</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>○</td> <td>障害児・者心理学 3(学習)</td> <td>2</td> <td>学期</td> </tr> <tr> <td><del>3</del></td> <td></td> <td><del>肢体不自由の生理と病理</del></td> <td><del>2</del></td> <td><del>学期</del></td> <td><del>廃止</del></td> </tr> </tbody> </table> <p>(「肢体不自由の生理と病理」、「肢体不自由者の心理」の 2 科目に代えて「肢体不自由の心理・生理・病理」が履修できる。)</p>	(2) 心理学科目						3	*	教育相談の理論と方法	2	学期		3	○	障害児・者心理学 1 (コミュニケーション)	2	学期	注 11	3	○	障害児・者心理学 2(行動)	2	学期	3	○	障害児・者心理学 3(学習)	2	学期	<del>3</del>		<del>肢体不自由の生理と病理</del>	<del>2</del>	<del>学期</del>	<del>廃止</del>	<p>(PE-I) 子ども支援領域</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">(2) 心理学科目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>*</td> <td>教育相談の理論と方法</td> <td>2</td> <td>学期</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>○</td> <td>障害児・者心理学 1 (コミュニケーション)</td> <td>2</td> <td>学期</td> <td rowspan="4">注 11</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>○</td> <td>障害児・者心理学 2(行動)</td> <td>2</td> <td>学期</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>○</td> <td>障害児・者心理学 3(学習)</td> <td>2</td> <td>学期</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td>肢体不自由の生理と病理</td> <td>2</td> <td>学期</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	(2) 心理学科目						3	*	教育相談の理論と方法	2	学期		3	○	障害児・者心理学 1 (コミュニケーション)	2	学期	注 11	3	○	障害児・者心理学 2(行動)	2	学期	3	○	障害児・者心理学 3(学習)	2	学期	3		肢体不自由の生理と病理	2	学期																	
(2) 心理学科目																																																																																						
3	*	教育相談の理論と方法	2	学期																																																																																		
3	○	障害児・者心理学 1 (コミュニケーション)	2	学期	注 11																																																																																	
3	○	障害児・者心理学 2(行動)	2	学期																																																																																		
3	○	障害児・者心理学 3(学習)	2	学期																																																																																		
<del>3</del>		<del>肢体不自由の生理と病理</del>	<del>2</del>	<del>学期</del>		<del>廃止</del>																																																																																
(2) 心理学科目																																																																																						
3	*	教育相談の理論と方法	2	学期																																																																																		
3	○	障害児・者心理学 1 (コミュニケーション)	2	学期	注 11																																																																																	
3	○	障害児・者心理学 2(行動)	2	学期																																																																																		
3	○	障害児・者心理学 3(学習)	2	学期																																																																																		
3		肢体不自由の生理と病理	2	学期																																																																																		
P.64 2016年3月22日	<p>PE-I) 子ども支援領域</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">(6) 演習科目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td></td> <td>小学校教育授業研究</td> <td>1</td> <td>学期</td> <td>注 16-2</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td>保育内容研究</td> <td>1</td> <td>学期</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td>特別支援教育授業研究</td> <td>1</td> <td>学期</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td>教職実践演習 (幼・小)</td> <td>2</td> <td>学期</td> <td>注 17</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注 16-2) 「教育実習 1」を履修するためには、3 年次終了までに「小学校教育授業研究」の単位を修得していることが望ましい。</p>	(6) 演習科目						3		小学校教育授業研究	1	学期	注 16-2	3		保育内容研究	1	学期		3		特別支援教育授業研究	1	学期		4		教職実践演習 (幼・小)	2	学期	注 17	<p>PE-I) 子ども支援領域</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">(6) 演習科目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>(新設)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td>保育内容研究</td> <td>1</td> <td>学期</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td>特別支援教育授業研究</td> <td>1</td> <td>学期</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td>教職実践演習 (幼・小)</td> <td>2</td> <td>学期</td> <td>注 17</td> </tr> </tbody> </table> <p>(科目および注 16-2 を追加)</p>	(6) 演習科目								(新設)				3		保育内容研究	1	学期		3		特別支援教育授業研究	1	学期		4		教職実践演習 (幼・小)	2	学期	注 17																								
(6) 演習科目																																																																																						
3		小学校教育授業研究	1	学期	注 16-2																																																																																	
3		保育内容研究	1	学期																																																																																		
3		特別支援教育授業研究	1	学期																																																																																		
4		教職実践演習 (幼・小)	2	学期	注 17																																																																																	
(6) 演習科目																																																																																						
		(新設)																																																																																				
3		保育内容研究	1	学期																																																																																		
3		特別支援教育授業研究	1	学期																																																																																		
4		教職実践演習 (幼・小)	2	学期	注 17																																																																																	
P.65 2017年3月21日	<p>{7}卒業研究未提出者・不合格者の 9 月卒業について</p> <p>(下から 6 行目)</p> <p>・上記期日に未提出または審査結果が不合格の場合、<b>3 月卒業予定</b>の学生と同じ 1 月の期日に改めて提出することで、3 月卒業の可能性がある。</p> <p>文言変更</p>	<p>{7}卒業研究未提出者・不合格者の 9 月卒業について</p> <p>(下から 6 行目)</p> <p>・上記期日に未提出または審査結果が不合格の場合、<b>一般</b>の学生と同じ 1 月の期日に改めて提出することで、3 月卒業の可能性がある。</p>																																																																																				

ページ変更日	新	旧																																																																																																																																																																																																																																																				
P.66、67 2016年9月29日	卒業し、かつ教員免許状を取得するために、修得が必要となる 学科科目一覧	卒業し、かつ教員免許状を取得するために、修得が必要となる 学科科目一覧																																																																																																																																																																																																																																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>部門</th> <th>科目名</th> <th>配当年次</th> <th>単位数</th> <th>小学校教諭</th> <th>特別支援学校教諭</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">子ども理解領域</td> <td rowspan="6">障害科学科目</td> <td>特別支援教育学総論 A</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>特別支援教育学総論 B</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>病弱の心理・生理・病理</td> <td>3</td> <td>2</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>病弱教育総論</td> <td>3</td> <td>2</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>肢体不自由の生理と病理</td> <td>3</td> <td>2</td> <td></td> <td>※2</td> </tr> <tr> <td>肢体不自由の心理・生理・病理</td> <td>3</td> <td>2</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">子ども支援領域</td> <td rowspan="8">心理学科目</td> <td>教育相談の理論と方法</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>障害児・者心理学 1 (コミュニケーション)</td> <td>3</td> <td>2</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>障害児・者心理学 2 (行動)</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>障害児・者心理学 3 (学習)</td> <td>3</td> <td>2</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>肢体不自由者の心理</td> <td>3</td> <td>2</td> <td></td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>幼児理解の理論と方法</td> <td>3</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>心理検査法</td> <td>3</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>学校心理学</td> <td>4</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">障害科学科目</td> <td>感情心理学</td> <td>4</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>視覚障害教育総論</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>知的障害者教育課程論</td> <td>3</td> <td>2</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>知的障害者指導論</td> <td>3</td> <td>2</td> <td></td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>知的障害教育学総論</td> <td>3</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>聴覚障害教育総論</td> <td>3</td> <td>2</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>肢体不自由者教育論</td> <td>3</td> <td>2</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td colspan="4">教員免許状取得のために、修得が必要となる 学科科目の単位数の合計</td> <td>102</td> <td>118</td> </tr> </tbody> </table> <p>表中の幼稚園教諭、小学校(主)+幼稚園、幼稚園(主)+小学校は省略 ※がついている科目の履修については P.83 を参照のこと</p>	部門	科目名	配当年次	単位数	小学校教諭	特別支援学校教諭	子ども理解領域	障害科学科目	特別支援教育学総論 A	2	2	2	2	特別支援教育学総論 B	2	2			病弱の心理・生理・病理	3	2		2	病弱教育総論	3	2		2	肢体不自由の生理と病理	3	2		※2	肢体不自由の心理・生理・病理	3	2		2	子ども支援領域	心理学科目	教育相談の理論と方法	3	2	2	2	障害児・者心理学 1 (コミュニケーション)	3	2		2	障害児・者心理学 2 (行動)	3	2	4	※	障害児・者心理学 3 (学習)	3	2		2	肢体不自由者の心理	3	2		※	幼児理解の理論と方法	3	2			心理検査法	3	2			学校心理学	4	2			障害科学科目	感情心理学	4	2			視覚障害教育総論	2	2		2	知的障害者教育課程論	3	2		2	知的障害者指導論	3	2		※	知的障害教育学総論	3	2			聴覚障害教育総論	3	2		2	肢体不自由者教育論	3	2		2	教員免許状取得のために、修得が必要となる 学科科目の単位数の合計				102	118	<table border="1"> <thead> <tr> <th>部門</th> <th>科目名</th> <th>配当年次</th> <th>単位数</th> <th>小学校教諭</th> <th>特別支援学校教諭</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">子ども理解領域</td> <td rowspan="6">障害科学科目</td> <td>特別支援教育学総論 A</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>特別支援教育学総論 B</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>病弱の心理・生理・病理</td> <td>3</td> <td>2</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>病弱教育総論</td> <td>3</td> <td>2</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>肢体不自由の生理と病理</td> <td>3</td> <td>2</td> <td></td> <td>※2</td> </tr> <tr> <td>肢体不自由の心理・生理・病理</td> <td>3</td> <td>2</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">子ども支援領域</td> <td rowspan="8">心理学科目</td> <td>教育相談の理論と方法</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>障害児・者心理学 1 (コミュニケーション)</td> <td>3</td> <td>2</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>障害児・者心理学 2 (行動)</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>※2</td> </tr> <tr> <td>障害児・者心理学 3 (学習)</td> <td>3</td> <td>2</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>肢体不自由者の心理</td> <td>3</td> <td>2</td> <td></td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>幼児理解の理論と方法</td> <td>3</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>心理検査法</td> <td>3</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>学校心理学</td> <td>4</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">障害科学科目</td> <td>感情心理学</td> <td>4</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>視覚障害教育総論</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>知的障害者教育課程論</td> <td>3</td> <td>2</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>知的障害者指導論</td> <td>3</td> <td>2</td> <td></td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>知的障害教育学総論</td> <td>3</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>聴覚障害教育総論</td> <td>3</td> <td>2</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>肢体不自由者教育論</td> <td>3</td> <td>2</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td colspan="4">教員免許状取得のために、修得が必要となる 学科科目の単位数の合計</td> <td>102</td> <td>118</td> </tr> </tbody> </table> <p>表中の幼稚園教諭、小学校(主)+幼稚園、幼稚園(主)+小学校は省略</p>	部門	科目名	配当年次	単位数	小学校教諭	特別支援学校教諭	子ども理解領域	障害科学科目	特別支援教育学総論 A	2	2	2	2	特別支援教育学総論 B	2	2			病弱の心理・生理・病理	3	2		2	病弱教育総論	3	2		2	肢体不自由の生理と病理	3	2		※2	肢体不自由の心理・生理・病理	3	2		2	子ども支援領域	心理学科目	教育相談の理論と方法	3	2	2	2	障害児・者心理学 1 (コミュニケーション)	3	2		2	障害児・者心理学 2 (行動)	3	2	4	※2	障害児・者心理学 3 (学習)	3	2		2	肢体不自由者の心理	3	2		※	幼児理解の理論と方法	3	2			心理検査法	3	2			学校心理学	4	2			障害科学科目	感情心理学	4	2			視覚障害教育総論	2	2		2	知的障害者教育課程論	3	2		2	知的障害者指導論	3	2		※	知的障害教育学総論	3	2			聴覚障害教育総論	3	2		2	肢体不自由者教育論	3	2		2	教員免許状取得のために、修得が必要となる 学科科目の単位数の合計				102	118
部門	科目名	配当年次	単位数	小学校教諭	特別支援学校教諭																																																																																																																																																																																																																																																	
子ども理解領域	障害科学科目	特別支援教育学総論 A	2	2	2	2																																																																																																																																																																																																																																																
		特別支援教育学総論 B	2	2																																																																																																																																																																																																																																																		
		病弱の心理・生理・病理	3	2		2																																																																																																																																																																																																																																																
		病弱教育総論	3	2		2																																																																																																																																																																																																																																																
		肢体不自由の生理と病理	3	2		※2																																																																																																																																																																																																																																																
		肢体不自由の心理・生理・病理	3	2		2																																																																																																																																																																																																																																																
子ども支援領域	心理学科目	教育相談の理論と方法	3	2	2	2																																																																																																																																																																																																																																																
		障害児・者心理学 1 (コミュニケーション)	3	2		2																																																																																																																																																																																																																																																
		障害児・者心理学 2 (行動)	3	2	4	※																																																																																																																																																																																																																																																
		障害児・者心理学 3 (学習)	3	2		2																																																																																																																																																																																																																																																
		肢体不自由者の心理	3	2		※																																																																																																																																																																																																																																																
		幼児理解の理論と方法	3	2																																																																																																																																																																																																																																																		
		心理検査法	3	2																																																																																																																																																																																																																																																		
		学校心理学	4	2																																																																																																																																																																																																																																																		
	障害科学科目	感情心理学	4	2																																																																																																																																																																																																																																																		
		視覚障害教育総論	2	2		2																																																																																																																																																																																																																																																
		知的障害者教育課程論	3	2		2																																																																																																																																																																																																																																																
		知的障害者指導論	3	2		※																																																																																																																																																																																																																																																
		知的障害教育学総論	3	2																																																																																																																																																																																																																																																		
		聴覚障害教育総論	3	2		2																																																																																																																																																																																																																																																
肢体不自由者教育論	3	2		2																																																																																																																																																																																																																																																		
教員免許状取得のために、修得が必要となる 学科科目の単位数の合計				102	118																																																																																																																																																																																																																																																	
部門	科目名	配当年次	単位数	小学校教諭	特別支援学校教諭																																																																																																																																																																																																																																																	
子ども理解領域	障害科学科目	特別支援教育学総論 A	2	2	2	2																																																																																																																																																																																																																																																
		特別支援教育学総論 B	2	2																																																																																																																																																																																																																																																		
		病弱の心理・生理・病理	3	2		2																																																																																																																																																																																																																																																
		病弱教育総論	3	2		2																																																																																																																																																																																																																																																
		肢体不自由の生理と病理	3	2		※2																																																																																																																																																																																																																																																
		肢体不自由の心理・生理・病理	3	2		2																																																																																																																																																																																																																																																
子ども支援領域	心理学科目	教育相談の理論と方法	3	2	2	2																																																																																																																																																																																																																																																
		障害児・者心理学 1 (コミュニケーション)	3	2		2																																																																																																																																																																																																																																																
		障害児・者心理学 2 (行動)	3	2	4	※2																																																																																																																																																																																																																																																
		障害児・者心理学 3 (学習)	3	2		2																																																																																																																																																																																																																																																
		肢体不自由者の心理	3	2		※																																																																																																																																																																																																																																																
		幼児理解の理論と方法	3	2																																																																																																																																																																																																																																																		
		心理検査法	3	2																																																																																																																																																																																																																																																		
		学校心理学	4	2																																																																																																																																																																																																																																																		
	障害科学科目	感情心理学	4	2																																																																																																																																																																																																																																																		
		視覚障害教育総論	2	2		2																																																																																																																																																																																																																																																
		知的障害者教育課程論	3	2		2																																																																																																																																																																																																																																																
		知的障害者指導論	3	2		※																																																																																																																																																																																																																																																
		知的障害教育学総論	3	2																																																																																																																																																																																																																																																		
		聴覚障害教育総論	3	2		2																																																																																																																																																																																																																																																
肢体不自由者教育論	3	2		2																																																																																																																																																																																																																																																		
教員免許状取得のために、修得が必要となる 学科科目の単位数の合計				102	118																																																																																																																																																																																																																																																	

ページ変更日	新	旧																																																																																																						
P.68 2016年3月22日	卒業し、かつ教員免許状を取得するために、修得が必要となる 学科科目一覧 <table border="1"> <thead> <tr> <th>部門</th> <th>科目名</th> <th>配当年次</th> <th>単位数</th> <th>小学校教諭</th> <th>特別支援学校教諭</th> <th>幼稚園教諭</th> <th>小学校(主)+幼稚園</th> <th>幼稚園(主)+小学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">子ども支援領域</td> <td>演習科目</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小学校教育授業研究</td> <td>3</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>保育内容研究</td> <td>3</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>特別支援教育授業研究</td> <td>3</td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>教職実践演習(幼・小)</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	部門	科目名	配当年次	単位数	小学校教諭	特別支援学校教諭	幼稚園教諭	小学校(主)+幼稚園	幼稚園(主)+小学校	子ども支援領域	演習科目								小学校教育授業研究	3	1						保育内容研究	3	1			1		1	特別支援教育授業研究	3	1		1					教職実践演習(幼・小)	4	2	2	2	2	2	2	卒業し、かつ教員免許状を取得するために、修得が必要となる 学科科目一覧 <table border="1"> <thead> <tr> <th>部門</th> <th>科目名</th> <th>配当年次</th> <th>単位数</th> <th>小学校教諭</th> <th>特別支援学校教諭</th> <th>幼稚園教諭</th> <th>小学校(主)+幼稚園</th> <th>幼稚園(主)+小学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">子ども支援領域</td> <td>演習科目</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>保育内容研究</td> <td>3</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>特別支援学校授業研究</td> <td>3</td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>教職実践演習(幼・小)</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	部門	科目名	配当年次	単位数	小学校教諭	特別支援学校教諭	幼稚園教諭	小学校(主)+幼稚園	幼稚園(主)+小学校	子ども支援領域	演習科目								新設								保育内容研究	3	1			1		1	特別支援学校授業研究	3	1		1					教職実践演習(幼・小)	4	2	2	2	2	2	2
部門	科目名	配当年次	単位数	小学校教諭	特別支援学校教諭	幼稚園教諭	小学校(主)+幼稚園	幼稚園(主)+小学校																																																																																																
子ども支援領域	演習科目																																																																																																							
	小学校教育授業研究	3	1																																																																																																					
	保育内容研究	3	1			1		1																																																																																																
	特別支援教育授業研究	3	1		1																																																																																																			
	教職実践演習(幼・小)	4	2	2	2	2	2	2																																																																																																
部門	科目名	配当年次	単位数	小学校教諭	特別支援学校教諭	幼稚園教諭	小学校(主)+幼稚園	幼稚園(主)+小学校																																																																																																
子ども支援領域	演習科目																																																																																																							
	新設																																																																																																							
	保育内容研究	3	1			1		1																																																																																																
	特別支援学校授業研究	3	1		1																																																																																																			
	教職実践演習(幼・小)	4	2	2	2	2	2	2																																																																																																
P. 68 2015年3月20日	卒業し、かつ教員免許状を取得するために、修得が必要となる学科科目一覧 <table border="1"> <thead> <tr> <th>部門</th> <th>科目名</th> <th>配当年次</th> <th>単位数</th> <th>小学校教諭</th> <th>特別支援学校教諭</th> <th>幼稚園教諭</th> <th>小学校(主)+幼稚園</th> <th>幼稚園(主)+小学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>卒業研究</td> <td>4</td> <td>6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">教員免許状取得のために、修得が必要となる学科科目の単位数の合計 (数字の修正)</td> <td>102</td> <td>118</td> <td>93</td> <td>118</td> <td>117</td> </tr> </tbody> </table>	部門	科目名	配当年次	単位数	小学校教諭	特別支援学校教諭	幼稚園教諭	小学校(主)+幼稚園	幼稚園(主)+小学校		卒業研究	4	6						教員免許状取得のために、修得が必要となる学科科目の単位数の合計 (数字の修正)				102	118	93	118	117	卒業し、かつ教員免許状を取得するために、修得が必要となる学科科目一覧 <table border="1"> <thead> <tr> <th>部門</th> <th>科目名</th> <th>配当年次</th> <th>単位数</th> <th>小学校教諭</th> <th>特別支援学校教諭</th> <th>幼稚園教諭</th> <th>小学校(主)+幼稚園</th> <th>幼稚園(主)+小学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>卒業研究</td> <td>4</td> <td>6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">教員免許状取得のために、修得が必要となる学科科目の単位数の合計</td> <td>102</td> <td>114</td> <td>93</td> <td>118</td> <td>117</td> </tr> </tbody> </table>	部門	科目名	配当年次	単位数	小学校教諭	特別支援学校教諭	幼稚園教諭	小学校(主)+幼稚園	幼稚園(主)+小学校		卒業研究	4	6						教員免許状取得のために、修得が必要となる学科科目の単位数の合計				102	114	93	118	117																																																
部門	科目名	配当年次	単位数	小学校教諭	特別支援学校教諭	幼稚園教諭	小学校(主)+幼稚園	幼稚園(主)+小学校																																																																																																
	卒業研究	4	6																																																																																																					
教員免許状取得のために、修得が必要となる学科科目の単位数の合計 (数字の修正)				102	118	93	118	117																																																																																																
部門	科目名	配当年次	単位数	小学校教諭	特別支援学校教諭	幼稚園教諭	小学校(主)+幼稚園	幼稚園(主)+小学校																																																																																																
	卒業研究	4	6																																																																																																					
教員免許状取得のために、修得が必要となる学科科目の単位数の合計				102	114	93	118	117																																																																																																
P.78 2015年3月20日	実習の前提条件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>&lt;特別支援学校教育実習&gt; ( ( ) 内は単位数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特別支援学校教育実習を受講するためには、前述の教育実習1の前提条件を満たした上で、次の条件を満たしていること。</td> </tr> <tr> <td>省略</td> </tr> <tr> <td>・次の科目より、いずれか1科目2単位以上を修得していること 病弱の心理・生理・病理 肢体不自由の心理・生理と病理</td> </tr> <tr> <td>省略</td> </tr> </tbody> </table>	<特別支援学校教育実習> ( ( ) 内は単位数)	特別支援学校教育実習を受講するためには、前述の教育実習1の前提条件を満たした上で、次の条件を満たしていること。	省略	・次の科目より、いずれか1科目2単位以上を修得していること 病弱の心理・生理・病理 肢体不自由の心理・生理と病理	省略	実習の前提条件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>&lt;特別支援学校教育実習&gt; ( ( ) 内は単位数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特別支援学校教育実習を受講するためには、前述の教育実習1の前提条件を満たした上で、次の条件を満たしていること。</td> </tr> <tr> <td>省略</td> </tr> <tr> <td>・次の科目より、いずれか1科目2単位以上を修得していること 病弱の心理・生理・病理 肢体不自由の生理と病理 肢体不自由者の心理</td> </tr> <tr> <td>省略</td> </tr> </tbody> </table>	<特別支援学校教育実習> ( ( ) 内は単位数)	特別支援学校教育実習を受講するためには、前述の教育実習1の前提条件を満たした上で、次の条件を満たしていること。	省略	・次の科目より、いずれか1科目2単位以上を修得していること 病弱の心理・生理・病理 肢体不自由の生理と病理 肢体不自由者の心理	省略																																																																																												
<特別支援学校教育実習> ( ( ) 内は単位数)																																																																																																								
特別支援学校教育実習を受講するためには、前述の教育実習1の前提条件を満たした上で、次の条件を満たしていること。																																																																																																								
省略																																																																																																								
・次の科目より、いずれか1科目2単位以上を修得していること 病弱の心理・生理・病理 肢体不自由の心理・生理と病理																																																																																																								
省略																																																																																																								
<特別支援学校教育実習> ( ( ) 内は単位数)																																																																																																								
特別支援学校教育実習を受講するためには、前述の教育実習1の前提条件を満たした上で、次の条件を満たしていること。																																																																																																								
省略																																																																																																								
・次の科目より、いずれか1科目2単位以上を修得していること 病弱の心理・生理・病理 肢体不自由の生理と病理 肢体不自由者の心理																																																																																																								
省略																																																																																																								

ページ変更日	新	旧																																																														
P. 81 2015年3月20日 (9月30日に一部追加して訂正)	<p>7.2. 教科に関する科目            &lt;小学校教諭一種免許状&gt;            下表について、全ての科目を履修し、単位を修得する必要があります。</p> <table border="1" data-bbox="405 304 1137 501"> <thead> <tr> <th>免許法施行規則に規定する科目区分</th> <th>開講科目</th> <th>単位</th> <th>履修年次</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">音楽</td> <td>音楽</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>音楽実技1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2科目削除と☆印に関する注意を削除)</p> <p>・幼稚園免許を主免許として小学校免許を取得する場合、「社会」「理科」「家庭」の3科目から1科目2単位を修得すること。</p> <p>&lt;幼稚園教諭一種免許状&gt;</p> <table border="1" data-bbox="405 823 1207 1054"> <thead> <tr> <th>免許法施行規則に規定する科目区分</th> <th>開講科目</th> <th>単位</th> <th>履修年次</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">音楽</td> <td>音楽</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>音楽実技1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>☆音楽実技2</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>☆音楽実技3</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>・小学校免許を主免許として幼稚園免許を取得する場合の☆印の科目は必ずしも単位取得の必要はない。</p>	免許法施行規則に規定する科目区分	開講科目	単位	履修年次	音楽	音楽	2	1	音楽実技1	1	2	免許法施行規則に規定する科目区分	開講科目	単位	履修年次	音楽	音楽	2	1	音楽実技1	1	2	☆音楽実技2	1	2	☆音楽実技3	1	3	<p>7.2. 教科に関する科目            &lt;小学校教諭一種免許状&gt;            下表について、☆印以外の全ての科目を履修し、単位を修得する必要があります。</p> <table border="1" data-bbox="1272 304 2004 568"> <thead> <tr> <th>免許法施行規則に規定する科目区分</th> <th>開講科目</th> <th>単位</th> <th>履修年次</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">音楽</td> <td>音楽</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>音楽実技1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>☆音楽実技2</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>☆音楽実技3</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>☆印の科目は、小学校免許を主免許として、幼稚園免許を取得する場合に履修すること。</p> <p>(新規の注意を追加)</p> <p>&lt;幼稚園教諭一種免許状&gt;</p> <table border="1" data-bbox="1272 823 2054 1054"> <thead> <tr> <th>免許法施行規則に規定する科目区分</th> <th>開講科目</th> <th>単位</th> <th>履修年次</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">音楽</td> <td>音楽</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>音楽実技1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>音楽実技2</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>音楽実技3</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2科目への☆印の追加)            (☆印の2科目に関する注意の追加)</p>	免許法施行規則に規定する科目区分	開講科目	単位	履修年次	音楽	音楽	2	1	音楽実技1	1	2	☆音楽実技2	1	2	☆音楽実技3	1	3	免許法施行規則に規定する科目区分	開講科目	単位	履修年次	音楽	音楽	2	1	音楽実技1	1	2	音楽実技2	1	2	音楽実技3	1	3
免許法施行規則に規定する科目区分	開講科目	単位	履修年次																																																													
音楽	音楽	2	1																																																													
	音楽実技1	1	2																																																													
免許法施行規則に規定する科目区分	開講科目	単位	履修年次																																																													
音楽	音楽	2	1																																																													
	音楽実技1	1	2																																																													
	☆音楽実技2	1	2																																																													
	☆音楽実技3	1	3																																																													
免許法施行規則に規定する科目区分	開講科目	単位	履修年次																																																													
音楽	音楽	2	1																																																													
	音楽実技1	1	2																																																													
	☆音楽実技2	1	2																																																													
	☆音楽実技3	1	3																																																													
免許法施行規則に規定する科目区分	開講科目	単位	履修年次																																																													
音楽	音楽	2	1																																																													
	音楽実技1	1	2																																																													
	音楽実技2	1	2																																																													
	音楽実技3	1	3																																																													



ページ変更日	新					旧																																																																																			
P.83 2016年 3月 22日	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="365 204 566 331">免許法施行規則に規定する科目区分</th> <th data-bbox="566 204 656 331">中心となる領域</th> <th data-bbox="656 204 1104 331">開講科目</th> <th data-bbox="1104 204 1149 331">単位</th> <th data-bbox="1149 204 1205 331">履修年次</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目</td> <td>知的</td> <td>※知的障害の病理</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>肢体不自由</td> <td>☆<b>肢体不自由の心理・生理・病理</b></td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>病弱</td> <td>※病弱の心理・生理・病理</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目</td> <td rowspan="4">知的</td> <td>※知的障害者教育課程論</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>☆知的障害者指導論</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>☆障害児・者心理学2（行動）</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>※障害児教育相談とアセスメント</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>肢体不自由</td> <td>※肢体不自由者教育論</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>病弱</td> <td>※病弱教育総論</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="365 799 1205 858">☆印は選択必修科目であり、<b>2科目中1科目以上を選択し</b>修得しなければならない。</p>					免許法施行規則に規定する科目区分	中心となる領域	開講科目	単位	履修年次	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	知的	※知的障害の病理	2	2	肢体不自由	☆ <b>肢体不自由の心理・生理・病理</b>	2	3	病弱	※病弱の心理・生理・病理	2	3	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	知的	※知的障害者教育課程論	2	3	☆知的障害者指導論	2	3	☆障害児・者心理学2（行動）	2	2	※障害児教育相談とアセスメント	2	3	肢体不自由	※肢体不自由者教育論	2	3	病弱	※病弱教育総論	2	3	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1261 204 1462 331">免許法施行規則に規定する科目区分</th> <th data-bbox="1462 204 1552 331">中心となる領域</th> <th data-bbox="1552 204 1955 331">開講科目</th> <th data-bbox="1955 204 2000 331">単位</th> <th data-bbox="2000 204 2078 331">履修年次</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目</td> <td>知的</td> <td>※知的障害の病理</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">肢体不自由</td> <td>☆<b>肢体不自由者の心理</b></td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>☆<b>肢体不自由の生理と病理</b></td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目</td> <td rowspan="4">知的</td> <td>※知的障害者教育課程論</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>☆知的障害者指導論</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>☆障害児・者心理学2（行動）</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>※障害児教育相談とアセスメント</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>肢体不自由</td> <td>※肢体不自由者教育論</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>病弱</td> <td>※病弱教育総論</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1238 767 2078 826">☆印は選択必修科目であり、<b>4科目中2科目以上を選択し、そのうち肢体不自由の科目を1つ以上選択し</b>修得しなければならない。</p>					免許法施行規則に規定する科目区分	中心となる領域	開講科目	単位	履修年次	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	知的	※知的障害の病理	2	2	肢体不自由	☆ <b>肢体不自由者の心理</b>	2	3	☆ <b>肢体不自由の生理と病理</b>	2	3	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	知的	※知的障害者教育課程論	2	3	☆知的障害者指導論	2	3	☆障害児・者心理学2（行動）	2	2	※障害児教育相談とアセスメント	2	3	肢体不自由	※肢体不自由者教育論	2	3	病弱	※病弱教育総論	2	3
免許法施行規則に規定する科目区分	中心となる領域	開講科目	単位	履修年次																																																																																					
心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	知的	※知的障害の病理	2	2																																																																																					
	肢体不自由	☆ <b>肢体不自由の心理・生理・病理</b>	2	3																																																																																					
	病弱	※病弱の心理・生理・病理	2	3																																																																																					
心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	知的	※知的障害者教育課程論	2	3																																																																																					
		☆知的障害者指導論	2	3																																																																																					
		☆障害児・者心理学2（行動）	2	2																																																																																					
		※障害児教育相談とアセスメント	2	3																																																																																					
	肢体不自由	※肢体不自由者教育論	2	3																																																																																					
	病弱	※病弱教育総論	2	3																																																																																					
免許法施行規則に規定する科目区分	中心となる領域	開講科目	単位	履修年次																																																																																					
心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	知的	※知的障害の病理	2	2																																																																																					
	肢体不自由	☆ <b>肢体不自由者の心理</b>	2	3																																																																																					
		☆ <b>肢体不自由の生理と病理</b>	2	3																																																																																					
心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	知的	※知的障害者教育課程論	2	3																																																																																					
		☆知的障害者指導論	2	3																																																																																					
		☆障害児・者心理学2（行動）	2	2																																																																																					
		※障害児教育相談とアセスメント	2	3																																																																																					
	肢体不自由	※肢体不自由者教育論	2	3																																																																																					
	病弱	※病弱教育総論	2	3																																																																																					
2018年 3月20日 (毎年更新)	<u>履修要項の心理学部専任教員一覧の項</u>					(新設項目)																																																																																			